

■口演 1

1 日目 (2 月 22 日) 9:50 ~ 10:35

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

広域医療搬送

座長 本村 友一 (日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)
竹内 一郎 (横浜市立大学 救急医学 高度救命救急センター)

- 01-1 モーダルシフトを考慮した鉄道による多数傷病者搬送の可能性について
国土舘大学大学院 救急システム研究科 西村 博章
- 01-2 三位一体型 SCU の有用性の検討
国民健康保険 小松市民病院 救急医療センター 上杉 如子
- 01-3 ドライブスルー型での域外 SCU 運用の課題
札幌医科大学 医学部 救急医学講座 / 札幌医科大学 北海道病院前・航空・災害医学講座 沢本 圭悟
- 01-4 自衛隊輸送機における搭載能力を最大限活用した傷病者搬送の検討
国立病院機構本部 DMAT 事務局 新興感染症対策課 池田 初男
- 01-5 令和 5 年度大規模地震時医療活動訓練における大分県空路搬送調整
大分大学医学部附属病院 竹中 隆一
- 01-6 広域医療搬送の再考
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 矢嶋 祐一

■口演 2

1 日目 (2 月 22 日) 10:40 ~ 11:30

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

教育 1

座長 安本 友子 (豊中平成病院 看護部)
立石 順久 (千葉市立海浜病院 救急科、集中治療科)

- 02-1 12 年の準備期間を要した山梨県のブロック訓練
山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明
- 02-2 ピンチはチャンス! ~災害を教育された立場から~
総合南東北病院 藁谷 暢
- 02-3 埼玉県北部 i 医療圏災害時研修
深谷赤十字病院 救急診療科 長島真理子
- 02-4 東京都の帰宅困難者一時滞在施設における市民対象の傷病者対応講習会の実施から見
出された効果と課題
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 家持 緑
- 02-5 病院スタッフの災害医療に対するモチベーションを上げるための取り組み
国立病院機構高崎総合医療センター 救急科 町田 浩志

- 02-6 徳島市医師会会員による EMIS 入力訓練
徳島市医師会 救急・防災対策委員会 上山 裕二
- 02-7 DHEAT における研修・訓練の企画立案を目的とした演習プログラムの開発
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 小森賢一郎

■口演 3

1 日目 (2 月 22 日) 11:35 ~ 12:20

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

教育 2

座長 東岡 宏明 (ひがしおかメディケアクリニック)
木野 毅彦 (日本医科大学付属病院 SICU)

- 03-1 地方医療圏における保健所管内全 8 病院合同病院災害対策本部同時立ち上げ訓練コン
トローラーを地元消防職員が担う効果
北見赤十字病院 谷口 治
- 03-2 BHELP 受講者の実災害への活用状況
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 / BHELP 運営委員会 是枝 大輔
- 03-3 MCLS コースにおける多職種にわたる受講者参加の有用性
東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター 卯津羅雅彦
- 03-4 埼玉県防災航空隊との訓練を実施して
埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 吉田 奈央
- 03-5 秋田県大雨災害における自衛隊との連携・協働による転院搬送
大館市立総合病院 DMAT 糠塚 拓道
- 03-6 健康危機管理分野における卒前・卒後教育とキャリアパス展望～ 6 団体合同での『健
康危機管理対応人材育成に関する合同検討委員会』の設立～
社会医学系専門医検討委員会 高橋 礼子

■口演 4

1 日目 (2 月 22 日) 14:00 ~ 14:50

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

他関連団体

座長 小早川義貴 (国立病院機構本部 DMAT 事務局 福島復興支援室)

- 04-1 NPO 法人 TMAT による国際海外医療の変革について
湘南鎌倉総合病院 外科 村田 宇謙
- 04-2 NGO による横断的視点に立った災害時多機関連携の取組み
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 二宮 真弓
- 04-3 災害時の民民連携の可能性について
特定非営利活動法人ジャパンハート 地域医療・国際緊急救援事業部 高橋茉莉子

- 04-4 令和4年新潟県豪雨災害への支援活動における人員不足が SNS・マスメディアによって解消された一例
公益社団法人 日本鍼灸師会 危機管理委員会 是元 佑太
- 04-5 災害対応にあたる行政職員の鍼灸マッサージ受療経験に関するインタビュー調査
東京都立大学 人文科学研究科 臨床心理学／災害鍼灸マッサージプロジェクト 三輪 正敬
- 04-6 住民を対象にした平時の活動が防災減災受援力に役立つ第2弾（避難所実施訓練）
一般社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 災害対策委員会 榎本 恭子
- 04-7 災害医療活動におけるキャンピングカーユーザーによるボランティアとの連携と可能性
順天堂大学 医学部附属練馬病院事務部管財課 安部 健

■口演5

1日目（2月22日）14:55～15:45

第3会場（みやこめっせ 1階 第2展示場C）

日本赤十字

座長 安藤和佳子（神戸赤十字病院 薬剤部）
島津 和久（兵庫県災害医療センター 救急部）

- 05-1 令和5年台風7号災害に係る日本赤十字社鳥取県支部救護班の活動
鳥取赤十字病院 外科 山代 豊
- 05-2 日本赤十字社佐賀県支部が実施する常備救護班要員研修会の変遷と展望～よりよい研修を目指して～
唐津赤十字病院 医療社会事業部／唐津赤十字病院 救急科／日本赤十字社佐賀県支部 事業推進課 酒井 正
- 05-3 令和5年台風13号災害における日本赤十字社福島県支部の救護活動～赤十字の災害救護活動は医療救護だけではない～
日本赤十字社福島県支部 事業推進課 久保 芳宏
- 05-4 日赤救護班と災害派遣福祉チーム（DWAT）との協働に向けた訓練参加の取り組み
日本赤十字社岡山県支部 土居 正明
- 05-5 除染エアータントによる被ばく医療活動訓練を経験しての当院の課題と対策
松山赤十字病院 板坂 昌浩
- 05-6 大津赤十字病院における災害活動備忘録
大津赤十字病院 医療社会事業部社会課 辻 多鶴子
- 05-7 災害救護活動における熱中症予防対策整備の必要性
長野赤十字病院 健康管理科部 星 研一

■口演 6

1 日目 (2 月 22 日) 15:50 ~ 16:40

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

災害看護

座長 夏目恵美子 (修文大学 看護学部)
佐々木秀章 (沖縄赤十字病院救急集中治療部)

- 06-1 災害看護「自助・共助・公助」と地域・在宅看護論「自助・互助・共助・公助」の使われ方
日本赤十字豊田看護大学 長尾佳世子
- 06-2 看護大学生に対する災害看護教育方法の検討
公立置賜置賜病院 救急外来 橋本 翼
- 06-3 病院勤務の看護師の防災リテラシー項目の妥当性
藍野大学 医療保健学部 看護学科 西上あゆみ
- 06-4 災害対応経験のある看護師による病院勤務の看護師の防災リテラシー
藍野大学 医療保健学部 看護学科 / 日本赤十字広島看護大学 看護学部看護学科 西上あゆみ
- 06-5 がん患者への防災教育に関する研究の動向
藍野大学大学院 看護学研究科 災害看護学専攻 池端 優樹
- 06-6 救命救急センタ被災時における看護師の避難行動の確立への取り組み
株式会社日立製作所 日立総合病院 森田 千穂
- 06-7 COVID-19 パンデミック下における看護師の看護実践環境と心理的苦悩との関係：横断研究
防衛医科大学校 医学教育部看護学科 野口 宣人

■口演 7

1 日目 (2 月 22 日) 9:50 ~ 10:40

第 8 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 A)

HD 透析 放射線・工学技師

座長 中村 誠昌 (長浜赤十字病院 医療社会事業部・救急科)
島崎 哲弥 (富山市立富山市民病院 臨床工学科)

- 07-1 首都直下地震に備える血液透析患者の実態調査
東京医療保健大学 立川看護学部 谷田 瞳
- 07-2 災害時の血液透析における除水の検討
琉球大学 理工学研究科博士課程 上原 健治
- 07-3 透析中の被災時に対する緊急離脱法の検討
医療法人偕行会 セントラルクリニック 診療支援部 臨床工学科 加藤 碧
- 07-4 慢性期透析病院における停電対応の事例報告
洛和会音羽病院 救命救急センター・京都 ER 宮前 伸啓

- 07-5 避難所、SCU 等屋外での X 線撮影を検討する
大阪府済生会千里病院 放射線部 橘 岳志
- 07-6 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームに参加して (X 線検査の課題と対策について)
国立病院機構 千葉医療センター 放射線科 三好 貴裕
- 07-7 DMAT や日赤救護班における臨床工学技士の役割
仙台赤十字病院 臨床工学技術課 中島 誠

■口演 8

1 日目 (2 月 22 日) 10:45 ~ 11:45

第 8 会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 A)

テロ対策

座長 奥村 徹 (法務省 矯正局/国際警察協会日本支部/一般社団法人 公共ネットワーク機構)
成田麻衣子 (りんくう総合医療センター 危機管理室・泉州救命救急センター救命診療科)

- 08-1 災害医療センターの特殊災害対応：取り組みと連携強化
国立病院機構 災害医療センター 救命救急センター 小山 智士
- 08-2 CBERNE テロ対策における個人防護装備の発想の転換
法務省 矯正局/国際警察協会日本支部/一般社団法人 公共ネットワーク機構 奥村 徹
- 08-3 2024 年 CBRNE 災害国民保護訓練に対してのマニュアル制作で見てきた地域、人員、物、予算の問題～資源が限られた地方の災害拠点病院からの声
飯田市立病院 救急科 坂本 広登
- 08-4 CBRNe 事態対処、複合事態対処で最も重要な "awareness" 「覚知」訓練について
株式会社いきがい 照井 資規
- 08-5 取り下げ
- 08-6 G 7 保健大臣会合における DMAT 医療体制について
長崎大学病院 災害医療支援室 木谷 貴嘉
- 08-7 世界最新の野外外科治療施設の運営とテント等野外施設の概念について
株式会社いきがい 照井 資規
- 08-8 我々が実施している事態対処医療の現状と展望
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 若井 聡智

■口演 9

1 日目 (2 月 22 日) 11:50 ~ 12:35

第 8 会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 A)

小児・周産

座長 林 宗博 (日本赤十字社医療センター 救命救急センター)
山下 公子 (愛仁会千船病院 救急診療部)

- 09-1 地域内の遠隔地における災害時小児周産期リエゾン支援の課題と取り組み
手稲溪仁会病院 小児科/小児集中治療科 荻原 重俊

- 09-2 避難所等での妊産婦および母子への助産師支援マニュアル作成
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 災害看護部門／公益社団法人東京都助産師会 国分寺 地区分会 内木 美恵
- 09-3 乳幼児を持つ保護者における災害時の物品の備え
松本看護大学 看護学部 看護学科 五十嵐佳寿美
- 09-4 乳幼児を持つ保護者における災害時の行動の備え
松本看護大学 看護学部 看護学科 横山 芳子
- 09-5 乳幼児の保護者にとって必要な災害時の情報
松本看護大学 看護学部 看護学科 原岡 智子
- 09-6 催涙スプレー噴霧事件における加害児童対応
宝塚市立病院 救急医療センター 向井 楓

■口演 10

1 日目 (2月22日) 14:00 ~ 14:50

第 8 会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 A)

マスギャザリング

座長 奥山 学 (秋田大学医学部附属病院 高度救命救急センター)
酒井 明子 (福井大学 名誉教授)

- 010-1 サッカースタジアムにおける救護体制構築とその検証 (第 2 報)
日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科 小倉 勝弘
- 010-2 開催 7 回で 3 例の CPA 症例を経験して考える地方都市フルマラソン大会の救護運営
北見赤十字病院 谷口 治
- 010-3 日本のマラソン大会における多数搬送事例と気象との関連調査
あいち小児保健医療総合センター 小児救命救急センター 水野 光規
- 010-4 にっぽんど真ん中祭りにおける救護スタッフの活動環境分析
名古屋掖済会病院 院内教育シミュレーションセンター／
2005 年日本国際博覧会記念災害救急医療研究財団 丹羽 一晃
- 010-5 鴨川納涼 2023 における多職種連携救護体制の構築
京都橘大学 健康科学部救急救命学科 関根 和弘
- 010-6 2023 年隅田川花火大会医療救護救護班活動報告
医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急科 三浦 邦久
- 010-7 花火大会における救護体制とその需要・課題について
大曲仙北広域消防本部 佐々木光晴

■口演 11

1 日目 (2 月 22 日) 16:00 ~ 16:50

第 8 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 A)

原子力・被ばく

座長 中村 誠昌 (長浜赤十字病院 医療社会事業部・救急科)
佐藤めぐみ (福島県立医科大学附属病院 手術部)

- 011-1 原子力災害により避難した自治体への住民の帰還や移住に影響を与えた情報
長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻 吉田 浩二
- 011-2 防災士が持つ放射線健康影響に対する認識の違い - 全国実態調査の結果から -
福島県立医科大学 大学院医学研究科 災害・被ばく医療科学共同専攻 国際被ばく保健看護学講座/
福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座 佐藤 美佳
- 011-3 稼働する原子力発電所周辺に居住する保護者の原子力事故と健康関連リスク認知の評価
長崎大学 原爆後障害医療研究所 松永妃都美
- 011-4 救急車内活動における放射性物質の汚染拡大の検証
量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所 被ばく医療部 松尾 帆浪
- 011-5 平時での原子力事業所内における汚染傷病者事案に対してのドクターヘリ搬送のフローチャート作成
福井県立病院 救命救急センター 東 裕之
- 011-6 “より実践的な”被ばく傷病者受け入れ訓練の取り組み
佐賀県医療センター好生館 総務課/災害対策室/佐賀県医療センター好生館 救急科/災害対策室/
佐賀県医療センター好生館 看護部救命救急センター/災害対策室 末安 正洋
- 011-7 原子力災害も考慮した青森県の病院籠城支援シミュレーション (DHCoS)
弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 辻口 貴清

■口演 12

1 日目 (2 月 22 日) 9:50 ~ 10:25

第 10 会場 (みやこめっせ B1 階 大会議室)

トルコ地震 報告 1

座長 稲葉 基高 (ピースウィンズ・ジャパン)
増田由美子 (埼玉医科大学総合医療センター 看護部)

- 012-1 海外の被災地で大規模・高機能な Field Hospital を展開するための調査と調整
淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科 夏川 知輝
- 012-2 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの活動報告 EMT Type2 から Type1 への体制変更に伴う課題
独立行政法人国立病院機構災害医療センター 診療部 救命救急科 高以良 仁
- 012-3 国際緊急援助隊医療チーム 2 次隊の経験を通してサブライセンターが目指すべき姿
社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 救命救急センター 若原 聖徳

012-4 トルコ・シリア地震における国際緊急援助隊医療チーム3次隊サプライセンターでの活動報告～撤収を経験して～
国立病院機構 災害医療センター 中央放射線部 小西英一郎

012-5 2023年トルコ・シリア地震におけるEmergency Medical Team Coordination Cell (EMTCC)の運営支援と今後の展望
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹

■口演 13

1日目(2月22日) 10:30～11:05

第10会場(みやこめっせB1階大会議室)

トルコ地震 報告2

座長 甲斐聡一郎(兵庫県災害医療センター)
武川 礼子(埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

013-1 トルコ・シリア地震派遣での支援活動～リーダーを支えるメンバーの重要性～
埼玉病院 看護部 江津 繁

013-2 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの活動報告—Type2における人員マネジメント チーフナースの視点から—
独立行政法人国立病院機構災害医療センター 診療部 救命救急科 高以良 仁

013-3 2023年トルコ・シリア地震における国際緊急援助隊(JDR)医療チーム一次隊の看護活動を通じた国際緊急援助下におけるグリーンケアの経験
立正佼成会附属佼成病院/社会医療法人緑泉会米盛病院/LIM/
東京医科歯科大学病院/独立行政法人国立病院機構東京医療センター/川口市立医療センター/愛知医科大学病院/
日本赤十字看護大学看護学研究科/福岡大学病院 高橋 大作

013-4 国際緊急援助隊医療チームにおける看護職の人材育成
東京医科歯科大学病院 看護部 高村 ゆ希

013-5 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの活動報告—現地スタッフとの連携—
東京医科歯科大学病院 看護部/国際緊急援助隊医療チーム 高村 ゆ希

■口演 14

1日目(2月22日) 11:10～11:45

第10会場(みやこめっせB1階大会議室)

トルコ地震 多職種報告

座長 大山 太(東海大学医学部看護学科)

014-1 トルコ地震における国際緊急援助隊医療チーム一次隊での医薬品情報管理と処方支援
岐阜薬科大学 地域医療実践薬学研究室 林 秀樹

014-2 トルコ・シリア地震:臨床検査技師によるチームパフォーマンス向上の可能性
兵庫医科大学病院 臨床検査技術部 湊 宏美

- 014-3 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊（JDR）医療チーム一次隊（Type2 EMT） 外来部門における救急救命士の活動
東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター 岩崎 恵
- 014-4 トルコ共和国における地震災害に対する国際緊急援助隊医療チーム・リハビリテーション部門の活動
国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 修士課程 水家健太郎
- 014-5 トルコ・シリア地震に国際緊急援助隊 医療チーム 医療調整員として派遣された柔道整復師の活動報告と今後について
日本柔道整復師会 災害対策室／国際緊急援助隊 医療チーム／横浜医療専門学校 柔道整復師科 森 倫範

■口演 15

1 日目（2月22日） 11:50～12:20

第 10 会場（みやこめっせ B1階 大会議室）

国際協力 1

座長 山田 英子（富山大学大学院 医学薬学教育部）

- 015-1 2023 年度 INSARAG アジア大洋州地域地震対応演習に exercise controller として参加した経験
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 大場 次郎
- 015-2 The 2023 INSARAG Asia Pacific Earthquake Response Exercise (APERE) 参加からの一考察
東京医科歯科大学病院 看護部／国際緊急援助隊医療チーム 高村 ゆ希
- 015-3 アメリカ合衆国事前準備・対応担当次官補局（ASPR）との交流について
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹
- 015-4 モルドバにおける災害派遣医療チーム体制構築に向けた支援活動の紹介
国立病院機構本部 DMAT 事務局 豊國 義樹

■口演 16

1 日目（2月22日） 14:00～14:50

第 10 会場（みやこめっせ B1階 大会議室）

トルコ地震 看護師報告

座長 黒住 健人（虎の門病院 外傷センター）
高村 ゆ希（東京医科歯科大学病院 看護部）

- 016-1 トルコ共和国における地震被害に対する JICA 国際緊急援助隊医療チームの活動報告～外来診療マネジメント～
兵庫県災害医療センター 看護部 成 俊浩
- 016-2 国際緊急援助隊（JDR）の活動における現地医療状況の把握と外来看護の課題
社会医療法人緑泉会 米盛病院 看護部 中澤 弘子
- 016-3 トルコ共和国における外来診療での感染対策の実際
埼玉医科大学病院 看護部 ICU 石倉 力

- 016-4 一次隊から二次隊間の業務、情報の引き継ぎに関する検討
愛知医科大学病院 看護部 岡崎 智絵
- 016-5 トルコ大地震における国際緊急援助隊医療チームの病棟運営
埼玉医科大学総合医療センター 看護部 増田由美子
- 016-6 トルコ大地震における国際緊急援助隊医療チームの病棟における人材管理
埼玉医科大学総合医療センター 看護部 増田由美子
- 016-7 トルコ・シリア大地震における看護診断を活用した入院患者のケアニーズの実際
愛知医科大学病院 高度救命救急センター／国際緊急援助隊医療チーム 川谷 陽子

■口演 17

1 日目 (2月22日) 14:55 ~ 15:45

第 10 会場 (みやこめっせ B1階 大会議室)

関連機関連携

座長 島田 二郎 (福島県立医科大学附属病院 ふたば救急総合医療支援センター)
榎本 暁 (東京消防庁 災害史安全教育室)

- 017-1 国立感染症研究所感染症危機管理研究センターのセキュリティ部門との連携・協力について
国立感染症研究所 感染症危機管理研究センター 北山 明子
- 017-2 消防から出向した病院内救急救命士の災害への取り組み
地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 災害対策室 小山 敬
- 017-3 ドクターヘリおよび消防との位置情報共有システムの構築について
岩手医科大学 岩手県高度救命救急センター／岩手医科大学 医学部 脳神経外科学講座 小守林靖一
- 017-4 島根メディカルラリーの挑戦～海上保安庁ヘリに災害救助犬の搭乗、女性救助チームなど～
唐津赤十字病院 救急科 日下あかり
- 017-5 泉州地域 MC 協議会で構築した本部単位で実施できる災害対応机上訓練の報告
泉州南消防組合泉州南広域消防本部 警防部救急課 小笠原利美
- 017-6 救命救急処置と CBRNe 事態の統合的指揮・統制・調整要領 SAFE-MARCH-E-PAWS-B アプローチについて
株式会社いきがい 照井 資規
- 017-7 桜島大規模噴火による大量降灰への対策には地域防災計画の見直しが必要である
鹿児島市立病院 救急科 吉原 秀明

■口演 18

1 日目 (2月22日) 16:10 ~ 16:45

第 10 会場 (みやこめっせ B1階 大会議室)

国際協力 2

座長 大場 次郎 (順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科)

- 018-1 国連野外衛生救護補助員課程に教官として参加して
防衛医科大学校 免疫・微生物学講座／陸上自衛隊衛生学校 山田 浩平

- 018-2 災害医療技術支援は「学び合い」である！
～レバノン/パレスチナ難民キャンプ病院での多数傷病者対応訓練を指導して～
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科/消化器外科/精神科/国際医療救援登録要員 益田 充
- 018-3 パレスチナの赤十字病院における看護師のフィジカルアセスメントの実践力向上のプロセス
日本赤十字看護大学付属災害救護研究所 災害看護学部門 内木 美恵
- 018-4 パレスチナ赤新月社医療支援事業におけるテクニカルサポート
大阪赤十字病院 国際医療救援部 池田 載子
- 018-5 ウクライナ留学生に対する実践型災害医療教育体制の立ち上げ
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 大場 次郎
- 018-6 取り下げ

■口演 19

2日目 (2月23日) 8:30～9:20

第3会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場C)

人材育成

座長 染谷 泰子 (帝京平成大学 健康メディカル学部)
布施 明 (日本医科大学付属病院 高度救命救急センター)

- 019-1 災害時の病院支援を行う学生のためのカリキュラム策定
学生 東北医科薬科大学 医学部医学科 浦尾 樹正
- 019-2 COVID-19 蔓延時の病院看護部門における看護提供維持と人材育成
日本赤十字看護大学 国際・災害看護学 内木 美恵
- 019-3 千葉県地域 DMAT (CLDMAT) 10年間の報告と今後の展望
千葉県総合救急災害医療センター 武政 輝希
- 019-4 2次医療圏における DHCoS の実施意義と方法について
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 古田 宏
- 019-5 EMIS 基本情報入力率向上を目指して
公立松任石川中央病院 災害医療対策センター 安間 圭一
- 019-6 東京都災害医療図上訓練の試みとその成果 (東京都災害図上訓練に関する分科会報告)
日本赤十字社医療センター 救命救急センター 林 宗博
- 019-7 東日本大震災被災地を会場とした派遣型実践研修、日本災害医療ロジスティクス研修の意義
岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座 富永 綾

■口演 20

2日目(2月23日) 9:25～10:15

第3会場(みやこめっせ 1階 第2展示場C)

ライフライン・ハード

座長 稲田 眞治(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
丹羽 一晃(名古屋掖済会病院 院内教育シュミレーションセンター)

- O20-1 防災を考慮した施設内データセンターの電源環境と平時における活用について
総合病院山口赤十字病院 末永利一郎
- O20-2 予期せぬ停電時の対応と見えた課題
独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター 救急科 竹田明希子
- O20-3 法定停電を活用した院内非常用電源回路調査
新宮市立医療センター 放射線科兼庶務課 榎本 翔太
- O20-4 電気設備点検時の停電を利用した非常電源稼働時の訓練について
愛知医科大学病院 救急診療部 加納 秀記
- O20-5 南海トラフ巨大地震に向けた災害拠点病院での応急給水対策のあり方
東海国立大学機構名古屋大学 減災連携研究センター 平山 修久
- O20-6 災害拠点病院における災害備蓄食のあり方の検討
順天堂大学医学部附属練馬病院 救命救急センター 廣田 恵典
- O20-7 降下型避難機器 UD エスケープ With の導入
医療法人 好輝会 梶本クリニック三国ヶ丘分院 長嶺 啓太

■口演 21

2日目(2月23日) 10:20～11:10

第3会場(みやこめっせ 1階 第2展示場C)

病院籠城

座長 井原 則之(社会医療法人近森会 近森病院 救急科)
鈴木 教久(独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT 事務局)

- O21-1 秋田豪雨による基幹災害拠点病院の孤立を経験して
～被災地外教育機関から被災地内災害対策本部への意思決定支援の検証～
秋田大学医学部附属病院 山平 大介
- O21-2 大規模地震で水没する病院は、いかに入院患者を生存させていくか。
中部労災病院 外科 橋本 瑞生
- O21-3 停電下の病院建物におけるエネルギー源確保のための電源確保ゲームおよび電力見積
ツールの開発と実践
早稲田大学 理工学術院創造理工学研究科総合機械工学専攻 上道 茜
- O21-4 当院の災害拠点病院の新棟建設への取り組み～DMAT 隊員としての経験～
京都中部総合医療センター 新棟建設準備室 原田 剛志

- 021-5 災害対策本部員を対象としたインフラ関連施設理解度向上への取り組み
長崎大学病院 災害医療支援室 安藝 敬生
- 021-6 水害に強い病院づくり～病院移転を契機とした浸水後も籠城できる施設整備～
東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター 岩崎 恵
- 021-7 広域地震での病院被災を軽減するー全病院の耐震化が病院籠城の基本である
正峰会 神戸大山病院 血管外科 福田 幾夫

■口演 22

2日目 (2月23日) 14:20～15:10

第3会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場C)

災害対策本部

座長 加納 秀記 (愛知医科大学病院 救急診療部)
山畑 佳篤 (京都府立医科大学 救急・災害医療システム学)

- 022-1 四国ブロック DMAT 実動訓練 - 水害訓練について -
徳島赤十字病院 救急部 福田 靖
- 022-2 ISUT 連携が DMAT 活動拠点本部にもたらす効果について
国立病院機構本部 DMAT 事務局 佐々木佳恵
- 022-3 東京都北多摩西部二次医療圏における平時の準備：通信訓練やアクションカード等の
取り組み
国立病院機構 災害医療センター 救命救急センター 高田 浩明
- 022-4 大学院災害医療教育・研究機関が行う情報収集に関する被災地支援の可能性 -令和
5年7月秋田市豪雨対応からの検証-
国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健医療学専攻 災害医療分野/
国際医療福祉大学大学院災害保健医療研究センター 内海 清乃
- 022-5 病院支援における現状分析と活動方針の策定についての評価
国立病院機構本部 DMAT 事務局 黒田 愛実
- 022-6 いまさら聞けない？院内災害対策本部設営場所～リアルな実動訓練から得た課題～
春日井市民病院 救命救急センター 近藤 圭太
- 022-7 電子カルテ停止時による当院の運用について
埼玉医科大学国際医療センター DMAT 岸田 全人

■口演 23

2日目(2月23日) 15:15～16:05

第3会場(みやこめっせ 1階 第2展示場C)

避難所

座長 石井 亘(京都第二赤十字病院 救命救急センター)
細川 浩(医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院 リハビリテーション科)

O23-1 我が国の地震後の深部静脈血栓症の関連因子：メタ解析

佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター／佐賀大学医学部 社会医学講座予防医学分野 古川祐太郎

O23-2 日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)の実践型訓練(近畿地方DMATブロック訓練)参加における有用性についての報告

公益社団法人 兵庫県栄養士会 JDA-DAT リーダー 濱田 真里

O23-3 取り下げ

O23-4 性的マイノリティに対し自治体が行っている避難所運営の配慮について～その実態と関連要因～

学生 東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科 浅見 美空

O23-5 大規模地震時医療活動訓練における避難所訓練の実際と課題

県立広島病院 看護部 救命救急センター ICU 石井 龍

O23-6 医療者から見た日本の災害関連死が抱える制度上の問題

東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野／さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 坪井 基浩

O23-7 個別避難戦略の尊厳と災害医療サービス

東北大学 災害科学国際研究所 災害医学研究部門 朴 慧晶

O23-8 災害時の船舶利用

三田市民病院 救急総合診療科 橋本 直樹

■口演 24

2日目(2月23日) 16:10～17:00

第3会場(みやこめっせ 1階 第2展示場C)

国際援助 1

座長 大場 次郎(順天堂大学医学部 救急・災害医学)
尾川 華子(広島大学 大学院医系科学研究科公衆衛生学)

O24-1 レバノン共和国にあるパレスチナ難民キャンプにある病院の平時の備えにおける災害対応力向上支援

広島赤十字・原爆病院 看護部 集中治療室 日隈 妙子

O24-2 ウクライナ危機に対するモルドバ共和国での活動事例

特定非営利活動法人 TMAT 野口 幸洋

- 024-3 ウクライナ人道危機：ポーランドにおける IFRC 心理社会的支援コーディネーター活動
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 心理社会的支援部門／諏訪赤十字病院 臨床心理課 森光 玲雄
- 024-4 2023 年トルコ地震に見る JDR 医療チーム派遣における産科診療の現状と課題
東京女子医科大学病院 母子総合医療センター産科 石川 源
- 024-5 トルコ・シリア地震派遣において分娩台を設置した分娩室兼予備手術室の活用～妊婦ケアに対する援助が安全に提供できる知識・技術の必要性～
社会福祉法人 恩賜財団大阪府済生会千里病院 看護部 秋山真紀子
- 024-6 トルコ・シリア地震派遣で経験した手術室の安全管理～予測しなかった出来事から手術室の管理体制を考える～
愛媛県立中央病院 外来特殊部門放射線 武田 徹
- 024-7 国際緊急援助隊救助チーム医療班の活動報告～トルコ・シリア地震被害における救助チーム医療班看護師の活動意義～
蒲郡市民病院 看護局 救急外来／国際緊急援助隊救助チーム 医療班 廣川 将人
- 024-8 取り下げ

■口演 25

2 日目 (2 月 23 日) 8:30 ～ 9:20

第 9 会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 B)

指揮・調整・連携

座長 松田 宏樹 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)
恩部 陽弥 (鳥取大学医学部附属病院 看護部)

- 025-1 大規模地震時医療活動訓練を通して得た地域保健医療福祉調整本部の今後の課題
都城市郡医師会病院 救急科／宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター 久保 佳祐
- 025-2 都市部の地域ヘルスケアシステム (医療・介護・福祉) を対象とした防災計画への取り組み
国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター 石田健一郎
- 025-3 医療関係団体と協働して自治体の災害対応能力を高める
直和会 平成立石病院 地域救急医療センター 大桃 丈知
- 025-4 災害に備えて - 堺地域での新たな取り組み -
堺市立総合医療センター 災害時医療管理センター 森田 正則
- 025-5 急性期における DMAT 活動拠点本部の設置場所を考える
～保健所に設置される DMAT 活動拠点本部；滋賀県の場合～
市立大津市民病院 看護部／ER 吉田 修
- 025-6 令和 5 年度大規模地震時医療活動訓練における参集拠点本部の工夫 ～スローガンとラベルシールの活用～
大阪大学 医学部附属病院高度救命救急センター 酒井 智彦

O25-7 災害拠点病院が地域救急告示病院及び多機関と開催してきた災害研修 8年の歩み

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 入澤 太郎

■口演 26

2日目 (2月23日) 9:25 ~ 10:15

第9会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 B)

病院・施設避難

座長 江津 繁 (埼玉病院 看護部)
川瀬 鉄典 (兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター)

O26-1 病院移転は病院避難の有効な訓練となる

仁愛会 浦添総合病院 救急集中治療部 那須 道高

O26-2 中規模総合病院の合併・病院移転における大量患者搬送の経験

医誠会国際総合病院 救急診療科 有元 秀樹

O26-3 病院避難等に備えた入院患者診療情報サマリーの自動更新システム

久留米大学病院 高度救命救急センター 山下 典雄

O26-4 水没病院からの病院避難に際して患者と医療機器を水から守る工夫

兵庫県災害医療センター 救急部 島津 和久

O26-5 南海トラフ地震における高知県医療機関の津波浸水率と病院避難に要する救助期間の推察；何日耐える覚悟をすべきか？

社会医療法人近森会 近森病院 救急科 井原 則之

O26-6 病院火災により入院患者全員を避難させた事例から見てきた当消防本部の課題

奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部 消防救急課 千葉 繁

O26-7 取り下げ

■口演 27

2日目 (2月23日) 10:20 ~ 11:10

第9会場 (みやこめっせ B1階 特別展示場 B)

災害拠点病院・DMAT

座長 三村 誠二 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)
高寺由美子 (前橋赤十字病院 看護部)

O27-1 当院における院内 DMAT 研修の取り組みについて

ひだか病院 事務局 情報企画課 藤本 順智

O27-2 院内 DMAT 事務局設立から 1 年

倉敷中央病院 國永 直樹

O27-3 我が県の局地災害における DMAT 派遣と患者受け入れ体制について

松阪中央総合病院 救急科 谷口健太郎

O27-4 当院における局地災害発生時の DMAT 出動フローと資機材の整備

りんくう総合医療センター 危機管理室 兼 大阪府泉州救命救急センター救命診療科 成田麻衣子

- 027-5 当院における DMAT 派遣時の安否確認について
 関東労災病院 矢尾 淳
- 027-6 災害拠点病院に於ける DMAT 隊員を活用した病院防災の備えへの取り組み
 - 部署への参画型変化アプローチを用いて -
 京都山城総合医療センター 看護部 村田 智春
- 027-7 当院 DMAT における隊員数の推移
 多根総合病院 救急科 柳 英雄

■口演 28

2 日目 (2 月 23 日) 14:20 ~ 15:10

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

ロジスティクス

座長 楠 孝司 (国立成育医療研究センター 災害対策部)
 中田 正明 (兵庫県災害医療センター 放射線課)

- 028-1 北海道 DMAT ロジスティクス部会の活動報告
 札幌医科大学附属病院 薬剤部 / 札幌医科大学 北海道病院前・航空・災害医学講座 稲村 広敏
- 028-2 DMAT 実働訓練におけるロジスティックチームの経験
 川崎医科大学総合医療センター 救急科 家永慎一郎
- 028-3 災害医療ロジスティクスの重要性を学生時代から体験する取り組み
 将来の災害医療ロジスティクスチーム要員養成を目指して
 長崎大学病院 災害医療支援室 山下 和範
- 028-4 IT 技術を活用し問題解決ができるスキルを持つ災害医療ロジスティクスが必要である
 福島赤十字病院 事務部 三浦 有樹
- 028-5 広域災害時の DMAT 調整本部における即時的情報共有の有用性について
 社会医療法人恵愛会大分中村病院 リハビリテーション部 黒田 厚
- 028-6 愛媛県 DMAT 調整本部における情報管理の試み
 ~令和 5 年度大規模地震時医療活動訓練を振り返って~
 愛媛県立新居浜病院 放射線部 渡辺真由美
- 028-7 医療コンテナ標準化における項目の検討とその課題
 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

■口演 29

2 日目 (2 月 23 日) 15:15 ~ 16:05

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

船舶・医療コンテナ

座長 梶山 和美 (北里大学病院 看護部 災害医療対策室)
 清住 哲郎 (防衛医科大学校病院 救急部)

- 029-1 日本赤十字社の Emergency Hospital の展開について
 大阪赤十字病院 国際医療救援部 光森 健二

- 029-2 医療コンテナ活用における法的課題について
神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司
- 029-3 船舶を活用した災害医療の可能性
東海大学 医学部 総合診療学系 救命救急医学 野口 航
- 029-4 災害対応設備のある民間フェリーの大規模医療搬送への活用の利点
青森県立中央病院 災害医療管理監/青森県立中央病院 救急部 小笠原 賢
- 029-5 「補給艦おうみ」における洋上での通信環境の課題について
神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司
- 029-6 南海トラフ地震における災害医療支援船 "Power of Change (PoC)" の活用
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 林田 光代
- 029-7 船上で活動する医療要員の安全管理について
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 杉本 陸

■口演 30

2 日目 (2 月 23 日) 16:10 ~ 17:00

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

〔総論〕 3 情報

座長 末永利一郎 (総合病院山口赤十字病院)
藤原 弘之 (岩手医科大学 医学部救急・災害医学講座)

- 030-1 D24H 災害時保健医療福祉支援システムのこれまでとこれから
芝浦工業大学 システム理工学部 市川 学
- 030-2 取り下げ
- 030-3 衛星コンステレーションの出現で劇的に変わりつつある災害時の情報通信とその課題
日本赤十字社医療センター 救命救急センター・国内医療救護部/
日本赤十字看護大学附属 災害救護研究所 情報企画連携室 鷺坂 彰吾
- 030-4 発災時における複数衛星回線を延伸するメッシュネットワーク有効性の一考察
奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター 辻井 高浩
- 030-5 災害時、日本赤十字社業務用無線を使用した通信環境の構築に向けて
高松赤十字病院 リハビリテーション科 谷本 海渡
- 030-6 山間部におけるモバイル通信圏外でのスターリンクの通信速度
福井大学 医学部 救急医学 笠松 眞吾
- 030-7 改正電波法施行規則等に基づく災害時の通信手段の確保—市民組織と行政との協定締結の重要性
伊勢赤十字病院 救命救急センター 災害医療部 説田 守道

■口演 31

2 日目 (2 月 23 日) 17:05 ~ 17:50

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

国際緊急援助

座長 山畑 佳篤 (京都府立医科大学 救急・災害医療システム学)

- 031-1 トルコ共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの活動報告
—一次隊における診療調整部での活動—
東京医科歯科大学病院 看護部 / 国際緊急援助隊医療チーム 高村 ゆ希
- 031-2 トルコ地震に対する国際緊急援助隊救助チーム派遣から得られた課題
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 / 国際緊急援助隊救助チーム医療班 高見 浩樹
- 031-3 トルコ地震を経て EMT initiative 時代に災害医療を担う小規模 EMT の存在意義を考える
災害人道医療支援会 (HuMA) / 大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター 伊藤 裕介
- 031-4 紙ベース診療記録からの WHO EMT MDS 自動集計: 画像解析技術を活用したシステムの開発
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会 / 兵庫県災害医療センター 甲斐聡一郎
- 031-5 トルコ・シリア地震: 最期をどう迎えたいか—国際災害緊急医療支援時の終末期患者対応
兵庫医科大学 救急・災害医学講座 山田 太平
- 031-6 2023 年トルコ・シリア大地震医療支援活動から見えた課題
特定非営利活動法人 TMAT 事務局 / 一般社団法人徳洲会 野口 幸洋

■口演 32

2 日目 (2 月 23 日) 8:30 ~ 9:05

第 10 会場 (みやこめっせ B1 階 大会議室)

京都府・大阪府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県関連

座長 石井 史子 (NPO 救命おかやま)
山本 啓雅 (生長会 府中病院 集中治療センター)

- 032-1 京都アニメーション火災事案に関する院内体制の検討
京都第二赤十字病院 救命救急センター 救急科 石井 亘
- 032-2 奈良県の局所災害システムの課題と今後の活用方法
奈良県立医科大学 救急医学 浅井 英樹
- 032-3 南海トラフ地震に直面する和歌山県の被災特性と求められる対応
和歌山労災病院 DMAT 岩崎 安博
- 032-4 和歌山県における災害医療体制の強化に向けて
ひだか病院 事務局 情報企画課 藤本 順智
- 032-5 令和 5 年台風 2 号対応からの検討事項の報告
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 是枝 大輔

■口演 33

2日目 (2月23日) 9:10～9:55

第10会場 (みやこめっせ B1階 大会議室)

国際援助 2

座長 夏川 知輝 (淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科)
千島佳也子 (国立病院機構本部 厚生労働省 DMAT 事務局)

- 033-1 限定的な災害支援受け入れ国に対する医療支援の課題～モロッコ地震における現場の医療ニーズと対策のギャップ～
特定非営利活動法人ピースウィンズジャパン 国内事業部 ARROWS 菊池 友枝
- 033-2 国際 USAR チームに帯同する医療班に求められる狭隘空間における輸液方法と投与速度の検証～ JDR 救助チーム医療班のチャレンジ～
国際緊急援助隊 (JDR) 救助チーム 医療班/愛知医科大学病院 高度救命救急センター 苛原 隆之
- 033-3 Emergency Hospital ロジスティクスのチャレンジ
大阪赤十字病院 国際医療救援部 河合 謙佑
- 033-4 2023年トルコ地震災害における JDR 医療チーム二次隊 JDR-MOS (電子カルテシステム) 運用管理経験からの考察
東海大学 医学部 看護学科 大山 太
- 033-5 トルコ地震災害での国際緊急援助隊医療チーム Public Health Module (PHM) の活動
東京医療保健大学 立川看護学部/JICA 国際緊急援助隊 医療チーム 三浦由紀子
- 033-6 国際緊急援助隊 (JDR) 医療チーム派遣における健康管理の活動報告
社会医療法人 緑泉会 米盛病院 看護部 山之内千絵

■口演 34

2日目 (2月23日) 10:00～10:50

第10会場 (みやこめっせ B1階 大会議室)

訓練・研修

座長 吉野 篤人 (浜松医科大学 救急災害医学講座)
中森 知毅 (横浜労災病院 救命救急センター)

- 034-1 津波到達までに何が出来るか? -44分間の災害対策本部机上訓練-
市立室蘭総合病院 麻酔科 下館 勇樹
- 034-2 ロボット支援下手術における火災対応訓練の報告
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 手術管理センター 原田あすか
- 034-3 富士山噴火による降灰被害を想定した訓練を企画して
神奈川県 医療危機対策本部室 村田 沢人
- 034-4 バーチャル災害訓練
大阪赤十字病院 国際医療救援部 中出 雅治
- 034-5 災害犠牲者遺族対応バーチャル訓練の効果検証
岩手医科大学 法科学講座法歯学・災害口腔医学分野 熊谷 章子

- 034-6 QRコード入場管理による研修受付の効果について
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT事務局 柴田 智子
- 034-7 軍事医療 TCCC と事態対処医療 TECC の国際的統合化について
TACMEDA : Tactical Medicine ESSENTIALS Asian Chapter 照井 資規

■口演 35

2日目 (2月23日) 10:55 ~ 11:55

第10会場 (みやこめっせ B1階 大会議室)

コロナ対応

座長 高橋 昌 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野)
小塚 浩 (国立病院機構本部 DMAT事務局)

- 035-1 和歌山県と当センターの新型コロナウイルス感染症対策 -和歌山方式3年間を振り返り-
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 中 大輔
- 035-2 新型コロナ災害のレガシー～人災の観点から考察～
埼玉巨樹の会 所沢美原総合病院 副院長 森崎 善久
- 035-3 医療従事者のNPOによるコロナ災害におけるボランティア支援
NPO われらはふるさと医療応援団 平出 敦
- 035-4 COVID-19 パンデミックの救急医療への影響～3年間の推移と今後の展望～
名古屋市立大学病院 救急科 服部 友紀
- 035-5 新型コロナウイルス感染症における在宅・施設での酸素療法
- 沖縄県における酸素濃縮装置の運用 -
沖縄県 医療コーディネーターチーム/もとぶ野毛病院 院長 出口 宝
- 035-6 徳島県におけるDMATによるCOVID-19対応
徳島赤十字病院 看護部 手術室 佐竹 孝文
- 035-7 コロナ禍を経て振り返る感染症災害の歴史
国立病院機構本部 DMAT事務局 三村 誠二
- 035-8 高齢者医療臨時施設の有用性 - COVID-19 蔓延時の東京都の経験から
社会医療法人社団正志会 小平 祐造

■口演 36

2日目 (2月23日) 14:20 ~ 15:10

第10会場 (みやこめっせ B1階 大会議室)

最近の災害

座長 森田 浩史 (福井大学医学部 救急医学)
若杉 雅浩 (富山県立中央病院 救命救急センター)

- 036-1 本学で行った火災対応を検証する②～病棟火災における現場病棟での初動活動は適切であったか?～
浜松医科大学医学部附属病院 看護部 彦坂 宗平

- 036-2 熱海市伊豆山土石流災害における災害派遣福祉チーム活動とチームリーダーの役割
岩手県立大学 社会福祉学部 伊藤 隆博
- 036-3 珠洲生活サポート部会の活動
金沢市立病院 森川 精二
- 036-4 石川県能登地震に対する地域保健支援
特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 国内事業部 北川 光希
- 036-5 富山県に線状降水帯が発生した日 ～当院の防災対策を振り返る～
厚生連高岡病院 災害対策企画部 伊藤 宏保
- 036-6 電力が必要な災害時要配慮者の避難について ～2023年台風6号沖縄の経験から～
沖縄赤十字病院 救急集中治療部 佐々木秀章
- 036-7 取り下げ

■口演 37

2日目（2月23日）15:15～16:00

第10会場（みやこめっせB1階大会議室）

風水害・土砂災害

座長 田口裕紀子（札幌医科大学 保健医療学部看護学科）
寺澤ゆかり（京都第一赤十字病院）

- 037-1 2023年台風6号による精神科病院支援とDMAT・DPATの連携
友愛医療センター 救急外来 赤平 幸奈
- 037-2 過去の事例から学ぶ事前浸水防止対策
徳島大学 環境防災研究センター 蔣 景彩
- 037-3 和歌山県における大雨等による局地災害での初動と情報収集における問題点
和歌山労災病院 DMAT 岩崎 安博
- 037-4 風水害における医療系大学生の備え
福岡看護大学 看護学部看護学科 末永 陽子
- 037-5 歩行中に大雨による急速な冠水によりアンダーパスで溺死した1例
滋賀医科大学 医学部附属病院 救急・集中治療部／滋賀医科大学 社会医学講座法医学部門 益満 茜
- 037-6 洪水による水没病院に対する救援活動時の安全性担保についての考察
栢記念病院 災害救急医療部 石川 敏仁

■口演 38

2日目(2月23日) 16:05～16:50

第10会場(みやこめっせ B1階 大会議室)

ドクターヘリ

座長 久城 正紀(福岡県済生会福岡総合病院 救命救急センター)
中村 光伸(前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)

- 038-1 G7 ドクターヘリ(DH)の活動内容と今後の課題 -ゼレンスキー大統領緊急来日時への対応と課題 -
公立豊岡病院 但馬救命救急センター 救急集中治療科 永嶋 太
- 038-2 静岡災害医学研究センター事業の紹介
順天堂大学 医学部附属 静岡病院 救急診療科 柳川 洋一
- 038-3 多数傷病者事案から振り返るフライトナースの活動と課題
川崎医科大学附属病院 看護部 古角祐太郎
- 038-4 ドクターヘリ本部における表計算ソフトを用いた当院独自の運航管理表の運用について
社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院 救急災害業務室 今安 弘樹
- 038-5 「近畿地方 DMAT ブロック訓練」における奈良県ドクターヘリ本部活動を経験して
南奈良総合医療センター 看護部 HCU・救急 福塚 一代
- 038-6 高知県での大規模災害時医療活動訓練、航空搬送調整の経験
高知医療センター 救命救急センター 齋坂 雄一

■口演 39

2日目(2月23日) 16:55～17:40

第10会場(みやこめっせ B1階 大会議室)

災害薬学

座長 渡邊 暁洋(兵庫医科大学 医学部 危機管理医学講座)
富永 綾(岩手医科大学 医学部 救急・災害医学講座)

- 039-1 東日本大震災後の石巻医療圏における薬剤師を巻き込んだ体制構築が災害医療を効率化した。
東北大学 医学部大学院医学系研究科 総合医療分野 丹野 佳郎
- 039-2 G7 広島サミットのメディアセンター診療所開設・運営における薬事活動
大分大学医学部附属病院 薬剤部/大分大学医学部附属病院 DMAT 山村 亮太
- 039-3 硫化水素中毒疑いの多数受け入れを機に見直した中毒解毒薬の運用について
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 天海 知明
- 039-4 サイバー攻撃によるオーダーリングシステム障害時の手書き処方箋対応の実態
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 薬局 吉田 紗理
- 039-5 東山薬剤師会における災害薬事研修会から見た成果と課題
京都第一赤十字病院 薬剤部 柏原 陽平

039-6 院内災害救護訓練における薬剤師の参加状況

京都第二赤十字病院 薬剤部 川島 裕明

■口演 40

3日目 (2月24日) 8:30～9:15

第3会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場C)

リハビリ

座長 田口 茂正 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター)
富岡 正雄 (大阪医科薬科大学 リハビリテーション医学教室)

040-1 2021年度から2023年度までの大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会の活動について

大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会/訪問看護ステーション リハステージ/
公益社団法人 大阪府理学療法士会 松岡 雅一

040-2 熊本 JRAT 災害時初動対応研修会におけるアンケート調査報告

山鹿温泉リハビリテーション病院 総合リハビリテーション部/
熊本県災害リハビリテーション推進協議会 (熊本 JRAT) 佐藤 亮

040-3 災害時のリハビリテーション支援活動における新たな記録方法の実用性の検討

第二東和会病院 リハビリテーション科 森川 明

040-4 災害時リハビリテーション活動における共通記録様式およびデータ収集ツールの開発

国際医療福祉大学大学院 災害医療分野 修士課程 水家健太郎

040-5 災害対応時のリハビリテーション職員の心理的負担

国際医療福祉大学塩谷病院 リハビリテーション室 土屋結有花

040-6 「災害リハビリテーション」研修後の学生の意識の変化について

摂津市保健センター/大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会 中野 皓介

■口演 41

3日目 (2月24日) 9:20～10:10

第3会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場C)

機器・システム

座長 安部 史生 (神戸赤十字病院 検査部)
小笠原 賢 (青森県立中央病院 災害医療管理監)

041-1 Microsoft365 Power Platform を活用した災害時の情報一元管理の仕組みづくり

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 総合保安部 危機管理防災課 竹岡 修

041-2 アリーナ・スタジアムの災害医療拠点化・新構想

スカパー JSAT 株式会社 宇宙・衛星事業本部 法人事業部 瀬尾 淳

041-3 和歌山県紀北地域災害訓練で用いた医療情報共有アプリによる情報通信の有用性

橋本市民病院 DMAT 小倉 由莉

- 041-4 多数傷病者管理の革命！音声入力可能で患者一覧表を共有できるアプリの開発
札幌徳洲会病院 救急科 平山 傑
- 041-5 複数機種の除細動器から 12 誘導心電図と画像の伝送に対応したクラウド救急医療連携システム
福井大学 医学部 救急医学 笠松 眞吾
- 041-6 被災地内で発生した重症体幹部外傷への移動型手術車両の投入と高速通信回線による遠隔手術支援の検証
東京女子医科大学附属足立医療センター 救命救急センター 岩崎 恵
- 041-7 DMAT 活動拠点本部における情報共有ツールの活用について
日本赤十字社松山赤十字病院 看護部 柱尾 明美

■口演 42

3 日目 (2 月 24 日) 10:15 ~ 10:50

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

教育 3

座長 岡本 貴大 (神戸赤十字病院 医療社会事業部)
花木 芳洋 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 救命救急センター)

- 042-1 院内災害訓練を活用した災害時救急医療体制の改革
島根大学医学部附属病院 災害医療・危機管理センター／島根大学医学部附属病院 高度外傷センター 下条 芳秀
- 042-2 水災を想定した患者選定訓練から得たもの
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 災害対策推進チーム 金子 洋
- 042-3 局地災害対応の机上訓練 1 週間後に行なった実働訓練
ハートライフ病院 救急総合診療部 三戸 正人
- 042-4 地方の災害拠点病院における全職員を対象とした災害初動教育の効果
宮崎大学 医学部 災害医療・救急医療支援講座／小林市立病院 救急科・総合診療科／
宮崎大学 医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学分野 鶴澤 佑
- 042-5 地方の災害拠点病院における全部署を対象とした災害アクションカードの検証
小林市立病院 看護部 川野友香里

■口演 43

3 日目 (2 月 24 日) 12:40 ~ 13:30

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

〔総論〕 5 トリアージ

座長 張替喜世一 (国士舘大学大学院 救急システム研究科)
田中 博之 (京都医療センター 救命救急科)

- 043-1 過去のモバイル医療の知見を踏まえた将来の大規模災害時における医療コンテナ等医療モジュールを活用した災害時医療提供体制に関する研究
自衛隊札幌病院 救急科 永田 高志

- 043-2 多数傷病者発生時における QR コードを用いた トリアージ情報管理システムの開発
みさと健和病院 救急総合内科／獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター 山田浩二郎
- 043-3 中部国際空港にておいて国際線飛行機事故時のトリアージの工夫について
愛知医科大学病院 救急診療部 加納 秀記
- 043-4 オートトリアージシステムの開発
島根大学 医学部 附属病院 災害医療・危機管理センター 室野井智博
- 043-5 横浜市青葉区災害時トリアージ講習会・実地訓練 ～多職種による大規模訓練の重要性～
一成会 たちばな台クリニック 循環器内科 山崎 継敬
- 043-6 START 法トリアージの訓練方法に SALT 法を加えた工夫について
—中部国際空港 消火救難・救急医療活動総合訓練の試み—
愛知医科大学病院 救急診療部 加納 秀記
- 043-7 START 法トリアージは本当に二人法で行う方が効率が良いのか？
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／ショック・外傷センター／日本医科大学 救急医学教室 上田太一郎

■口演 44

3 日目 (2 月 24 日) 13:35 ～ 14:35

第 3 会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場 C)

精神保健

- 座長 益田 充 (日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部／消化器外科／精神科／国際医療救援登録要員／NPO 法人心の SOS サポートネット 災害メンタルヘルス委員／日本 EMDR 学会人道支援プログラム (JEMDRA-HAP) 委員)
奥田 博子 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)
- 044-1 都道府県 DPAT の質的標準化にむけた課題と対応 ～令和 5 年度 DPAT 関連体制整備状況調査より～
千葉県香取保健所 地域保健福祉課 余田 悠介
- 044-2 京都府における DPAT の整備状況について～東日本大震災から 13 年が経過して～
京都府立洛南病院／厚生労働省委託事業 DPAT 事務局 岩根 達郎
- 044-3 各自治体の枠を超えた合同 DPAT チームの検討
獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科／厚生労働省委託事業 DPAT 事務局 五明佐也香
- 044-4 DPAT を活用した精神科治療中断例へのアウトリーチ活動
京都府立洛南病院 山崎 信幸
- 044-5 組織・職種・国境をこえた「顔の見える関係」を基礎にした「こころのケア」ネットワーク作り
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科／消化器外科／精神科／国際医療救援登録要員／NPO 法人心の SOS サポートネット 災害メンタルヘルス委員／日本 EMDR 学会人道支援プログラム (JEMDRA-HAP) 委員 益田 充
- 044-6 国連平和維持活動への派遣に伴う PTSD 症状の軌跡とそのリスク要因
防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学研究部門 斉藤 拓

- O44-7 救援者の惨事ストレスに備えるための知識普及勉強会の紹介
 国立国際医療研究センター 救命救急センター／第3救急科 福島 憲治
- O44-8 災害医療現場における臨床宗教師やスピリチュアルケア師と医療従事者の協働の課題と可能性
 東北大学 大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野博士後期課程 川崎 磨美

■口演 45

3日目（2月24日）8:30～9:20

第8会場（みやこめっせ B1階 特別展示場 A）

学生 session

座長 久野 将宗（日本医科大学多摩永山病院 救命救急科）
 金澤 豊（京都橘大学 健康科学部救急救命学科）

- O45-1 学生災害医療ロジスティクス演習を履修して思う未来（わたしたち）の災害医療
 学生 長崎大学 医学部 医学科 下野 舞花
- O45-2 一般市民の災害医療への理解
 学生 福島県立医科大学 医学部 医学科 張野 春菜
- O45-3 実践的な避難所運営訓練～新上五島町における災害医療ロジスティクス演習～
 学生 日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科 増田 尋斗
- O45-4 日本体育大学における災害医療ロジスティクス演習から活動隊報告書の課題を検討する
 学生 日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科 鈴木 唯華
- O45-5 日本体育大学における災害医療ロジスティクス演習本部活動の検討
 学生 日本体育大学 保健医療学部 救急医療学科 糟谷 一心
- O45-6 長期浸水地域における社会福祉施設からの避難
 高知大学 医学部 医学科 学生 橋本 梨鈴
- O45-7 高知県における地域の勤務医搬送計画
 高知大学 医学部 医学科 学生 塚本 尚志

■口演 46

3日目（2月24日）9:25～10:10

第8会場（みやこめっせ B1階 特別展示場 A）

災害教育（学生） 1

座長 長橋 和希（医療法人伯鳳会東京曳舟病院 救急救命士課）
 古賀 聖典（山口県岩国環境保健所）

- O46-1 災害・救急医療の現場における将来目指す救急救命士という自職種について学ぶ授業科目「医療人底力実践」教育2年目を開講して
 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 救急救命学科 久保田千景
- O46-2 大学の救急救命士養成課程で災害・救急領域のコミュニケーションについて学ぶ「救急救命コミュニケーション論」を初開講して
 鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 救急救命学科 久保田千景

- 046-3 南海トラフ地震被害想定地域に居住する A 大学看護学生の防災意識の認識について
高知大学 医学部 看護学科 細川 欣寿
- 046-4 避難所運営机上シミュレーションで看護学生が考えるキーワードと課題
神奈川工科大学 健康医療科学部 看護学科 奈良唯唯子
- 046-5 看護学生に対する講義は災害時対応の認識に大きく影響する
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 野村 智久
- 046-6 備蓄品を利用した栄養士養成課程における防災および災害教育の実践報告
鹿児島女子短期大学 生活科学科食物栄養学専攻/鹿児島県栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT 鹿児島) 改元 香

■口演 47

3 日目 (2 月 24 日) 10:15 ~ 11:00

第 8 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 A)

災害教育 (学生) 2

座長 加藤 渚 (厚生労働省 医政局 地域医療計画課)
中尾 博之 (行岡病院 救命救急科)

- 047-1 医学部生への津波被災後籠城を想定した二次トリアージ机上訓練
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 森井 啓太
- 047-2 医学部生に対する津波浸水時の搬送行動への意識改善と津波への危機意識向上を目指して - 拡張現実 (AR) 浸水疑似アプリの活用
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 村瀬 翔来
- 047-3 災害医療の卒前・卒後教育における VR 動画の活用
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 笠岡 俊志
- 047-4 国内・国際災害医療救援に関する医学部学生に対する教育
飯田市立病院 外科 白子 隆志
- 047-5 日本災害医学会学生部会の構想から 10 年、設立当時の経緯を振り返る
健生会 土庫病院 中務 智彰
- 047-6 佐賀大学大学院における多職種連携をめざした実践的な災害看護教育の紹介
—国内外における Civilian-Military Collaboration の実践経験—
佐賀大学 医学部社会医学講座 新地 浩一

■口演 48

3 日目 (2 月 24 日) 8:30 ~ 9:00

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

〔総論〕 10 マニュアル

座長 林 堅二 (那須赤十字病院 救命救急センター)
中島 康 (東京都立病院機構 法人本部 都立広尾病院 減災対策支援センター)

- 048-1 大規模システム障害と自然災害の複合災害訓練に対する備えと課題
大阪急性期・総合医療センター 看護部 救急病棟 松本 昌子

048-2 過去の河川水位記録の分析に基づく医療機関向け水害タイムラインの策定と 2022 年台風第 14 号での実運用～人吉医療センターでの取り組みその 1～
清水建設株式会社 技術研究所 安全安心技術センター 長谷川夏来

048-3 取り下げ

048-4 命を救う在宅 BCP ～災害時に備える地域医療・福祉～
株式会社 ハートナーシング高松 訪問看護ステーション あした 鎌野 倫加

■口演 49

3 日目 (2 月 24 日) 9:05 ～ 9:55

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

システム

座長 石井 正 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部)
西 健太 (大阪急性期・総合医療センター 医療技術部 放射線部門)

049-1 惨事災害に対するリーダーシップ：現代の高度に複雑化し、予期不能な災害に対応するために
防衛医科大学校病院 救急部/防衛医科大学校 防衛医学研究センター外傷研究部門 霧生 信明

049-2 災害医療における選択肢の増加と意思決定疲労：シャノンエントロピーを用いた検討
帝京大学 医学部 救急医学講座 安心院康彦

049-3 危機災害派遣者は本質的には要配慮就労者なのではないか？ - 職場職員の危機災害派遣者受容度とその関連要因に関する実態調査
福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座 長谷川有史

049-4 災害医学教育を参考にした医療機器開発のニーズ・シーズマッチングにおける共通認識構築への取り組み
国立病院機構 大阪医療センター 救命救急センター 大西 光雄

049-5 災害拠点病院におけるランサムウェア等によるサイバーインシデント発生時の初動を考える
利根中央病院 総合診療科/救急科/独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 非常勤職員 鈴木 諭

049-6 大規模システム障害時のメディカル ID 運用における課題
大阪急性期・総合医療センター 西 健太

049-7 Google® スプレッドシートを用いたクロノロジーの有用性
国立病院機構九州医療センター 救命救急センター 野田英一郎

■口演 50

3 日目 (2 月 24 日) 10:00 ~ 10:45

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

システム・ドローン・コンテナ

座長 中谷 宣章 (東京慈恵会医科大学附属病院 救急部)
小澤 和弘 (愛知医科大学 災害医療研究センター)

- 050-1 建設現場の熱中症ゼロを目指したシステムのユーザビリティ調査
福井工業大学 工学部建築土木工学科 竹田 周平
- 050-2 災害現場におけるドローンの活用について
奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター 高倉 竜彦
- 050-3 震災訓練におけるドローン活用報告
伯鳳会 東京曳舟病院 診療技術部 救急救命士課 磯崎 千尋
- 050-4 災害用多目的車両 Medical-ConneX の活動実績
医療法人伯鳳会東京曳舟病院 長橋 和希
- 050-5 医療コンテナ運用システムの構築
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科博士後期課程 前林明日香
- 050-6 医療救援の脱炭素化に向けた研究開発
日赤看護大付属災害救護研究所 国際医療救援部門 中出 雅治

■口演 51

3 日目 (2 月 24 日) 12:40 ~ 13:30

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

人為災害

座長 成田麻衣子 (りんくう総合医療センター 危機管理室・大阪府泉州救命救急センター救命診療科)
町田 浩志 (国立病院機構高崎総合医療センター 救命救急センター)

- 051-1 当地域における MCI 対応計画策定の基礎となる傷病者の推定
北里大学 医学部 救命救急医学 服部 潤
- 051-2 局地災害において直近災害拠点病院等への傷病者集中搬送も一つの選択肢である
前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科 中村 光伸
- 051-3 局地災害を想定した多数傷病者対応への取り組み
国立病院機構 災害医療センター 看護部 救命救急病棟 藤原 宏輔
- 051-4 都心における重症外傷への DMAT 派遣の実情について
東京医科歯科大学病院 救命救急センター 北原 嶺
- 051-5 2023 年 2 月静岡県御前崎市港内建設現場での局地災害の事例検討
聖隷三方原病院 整形外科 原田 薫
- 051-6 帰宅困難となった愛知県からの修学旅行生への対応
東京慈恵会医科大学 医学部 救急医学講座 中谷 宣章

051-7 和歌山首相襲撃事件における災害医療対応

日本赤十字社和歌山医療センター 救急科／消化器外科／精神科／国際医療救援登録要員／
MCLS 大量殺傷型テロ対応コース 世話人 益田 充

■口演 52

3 日目 (2 月 24 日) 13:35 ～ 14:35

第 9 会場 (みやこめっせ B1 階 特別展示場 B)

行政・保健所

座長 是枝 大輔 (日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部)
坂東 淳 (徳島県 南部総合県民局)

052-1 大規模地震時医療活動訓練における DMAT 調整本部と県災害医療本部会議との協働の
試み

日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部 中 大輔

052-2 高知県における行政と DMAT の災害時情報網をいかに共有するか ～令和 5 年度大規
模地震時医療活動訓練で明確になった課題～

高知赤十字病院 救命救急センター 原 真也

052-3 令和 5 年度静岡県総合防災訓練での湖西市の災害時医療体制検討について

浜松医科大学医学部附属病院 病院経営支援課 加藤 真嗣

052-4 保健所職員と DMAT 隊員による活動拠点本部運営の報告

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部／日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部／
和歌山ろうさい病院 救急科／ひだか病院 情報企画課／新宮市立医療センター 放射線科 池田 敦彦

052-5 災害拠点病院の「大規模災害における圧挫症候群の管理に関する推奨事項」に準拠し
た体制整備～神奈川県川崎北部地域の当院の取り組み～

川崎市立多摩病院 (指定管理者 学校法人聖マリアンナ医科大学) クリニカルエンジニア部 矢田 哲康

052-6 地域災害医療対策会議を意識した当院での災害対応連絡会の開催

社会医療法人さいたま市民医療センター 防災対策室 坪井 謙

052-7 災害に備えた取り組みの検討
～発災時に備えた避難所の体制整備、地域行政との連携～

医療法人辰星会 研記念病院 災害救急医療部 神野 葵

052-8 地元関係者による地元住民のための地域保健医療福祉調整本部を構築するためには

埼玉県地域保健医療福祉調整本部研修事務局／さいたま赤十字病院 八坂 剛一

■口演 53

3 日目 (2 月 24 日) 12:30 ～ 13:15

第 10 会場 (みやこめっせ B1 階 大会議室)

避難所運営

座長 榛沢 和彦 (新潟大学大学院 先進血管病・塞栓症治療・予防講座)
水谷 嘉浩 (コパックス株式会社)

053-1 地域防災力向上に向けた避難所宿泊体験の実施について

兵庫県救急救命研究会 菊池 悠

- 053-2 災害時避難所衛生管理手法としてのHACCPシステムの可能性
一般社団法人 飯塚薬剤師会／帝京大学大学院 公衆衛生学研究科／日本災害医療薬剤師学会 桑名 由佳
- 053-3 避難所マネジメントのための情報共有システム ISEM (Information Sharing system for Evacuation center Management) の開発
東海大学 情報理工学部 情報メディア学科 内田 理
- 053-4 救急タグを用いた避難所の受付時スクリーニング
大阪大学 医学部附属病院高度救命救急センター 酒井 智彦
- 053-5 遠隔ロボットをアバターとして用いた被災者に対する支援の試み
大分大学大学院 福祉健康科学研究科／大分大学 クライシスマネジメント機構／
大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 徳丸 治
- 053-6 深層学習による避難所写真からのDVT陽性率予測の可能性について
聖マリアンナ医科大学神経内科 三橋 里美

■ポスター 1

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

災害教育 1

コメンテーター 岩瀬 史明 (山梨県立中央病院高度救命救急センター)
平林 篤志 (日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)

- P1-1 二次救急医療機関における職員の安否・参集に関わる情報伝達訓練を経験して
医療法人永井病院 臨床工学室 加藤 佳史
- P1-2 災害教育の一環として、病院内ネット配信講習後の課題
順天堂大学医学部附属静岡病院 救急診療科 大坂 裕通
- P1-3 災害の経験をどのように活かすか? 「災害対策のためのアーカイブ動画作成と公開」
活動報告
株式会社実務薬学総合研究所 代表取締役 / (一社) 全国薬剤師・在宅療養連絡会 (J-HOP) 災害対策委員会 /
学校法人武蔵野大学薬学部 水 八寿裕
- P1-4 病院職員の防災リテラシーを高める研修プログラムの成果と課題
国民健康保険 小松市民病院 森岡 海里
- P1-5 災害拠点病院として多数の傷病者受け入れを想定し、PAT 法の習得を目的とした災害
トリアージナース育成研修の 10 年間の取り組み
群馬県済生会前橋病院 整形外科 長谷川 仁
- P1-6 災害関連の仲間を増やすために
～一中規模病院のアイデアを 1 つでも多く皆さんと共有を～
彩の国東大宮メディカルセンター 救急・集中治療科 小出 正樹
- P1-7 致死的外傷・銃創・爆傷・高脅威下における救命訓練用シミュレータの開発について
株式会社いきがい 照井 資規

■ポスター 2

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

DPAT・精神ストレス

コメンテーター 五十嵐 豊 (日本医科大学付属病院 高度救命救急センター)
江川 新一 (東北大学 災害科学国際協力学)

- P2-1 大規模災害等発生時の災害精神医療体制について～佐賀県での DPAT 整備実情を通し
て～
国立病院機構 肥前精神医療センター リハビリテーション科 平位 和寛
- P2-2 令和 5 年度 DPAT 関連体制整備状況調査結果から見えた課題
DPAT 事務局 尾崎 光紗
- P2-3 南海トラフ地震における DPAT 必要数を東日本大震災ころのケア活動から推計する
筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 / 茨城県立こころの医療センター 地域・災害精神支援部 太刀川弘和

- P2-4 大規模台風被害により断水、停電が続く被災した院内患者に対する多職種協働し、
comfot ケアとなった事例の振り返り
医療法人社団筑波記念会筑波記念病院 看護部 飯島 雄希
- P2-5 災害時の医療フォローアップの必要性
広島大学 医学部 医学科/広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 吉田 教人
- P2-6 日本の地震災害における精神支援活動報告のシステムティックレビュー
筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 矢口 知絵
- P2-7 2019年サイクロン・イダイの被災傷病者における急性メンタルヘルス問題の経時的
推移
広島大学 大学院医系科学研究科公衆衛生学 福永 亜美
- P2-8 災害時における自損行為者の急増について
国土館大学 大学院救急システム研究科 田久 浩志

■ポスター 3

1 日目 (2月22日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場)

病院機能維持

コメンテーター 中込 悠 (新潟大学 医学部災害医療教育センター)
青木 正志 (茨城県立中央病院 看護局)

- P3-1 当院での資機材倉庫運用改善への取り組み
獨協医科大学病院 臨床工学部 大山 日和
- P3-2 多用途可変域型 IoT (DR-IoT) データ通信システムのフェーズフリー活用
大阪大学 大学院情報科学研究科 高井 峰生
- P3-3 デジタル化大型電子ペーパーを活用した本部活動における情報の整理と共有
~福岡県総合防災訓練で試みた「現状分析と課題」の情報管理~
新小文字病院 薬剤科 辻本 朗
- P3-4 商用電力停止に加えて自家発電全機停止した危機的事案
八戸市立市民病院 救命救急センター 奥沢 悦子
- P3-5 施設担当者登院困難時のライフライン残量把握に向けて
豊橋市民病院 経営企画室 倉島 正成
- P3-6 当院における水道事業者との災害時応援協定締結への取り組みについて
石巻赤十字病院 事務部 管財課 高橋 邦治
- P3-7 Google スプレッドシートとチェックボックスで資機材管理が生まれ変わった件につ
いて
新小文字病院 看護部 手術室 藤田 寛之
- P3-8 暴動・放火・院内事件・大量傷病者発生事案における病院の安全確保と最大多数の最
大救命を実現する効率的運営について
株式会社いきがい 照井 資規

■ポスター 4

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

CSCA

コメンテーター 許 吉起 (医療法人社団聖愛会 ぎおん牛田病院 総合診療科・外科)
石井 亘 (京都第二赤十字病院 救命救急センター)

- P4-1 電子カルテ停止など非常時における紙カルテ運用について考える
富山市立富山市民病院 医療局 看護科 岡崎 博樹
- P4-2 放射線部門における BCP の改訂に基づいた、災害時行動理解のための机上演習 (エマ
ルゴトレーニング方式) の有用性について
神戸赤十字病院 放射線科部 辻居 賢一
- P4-3 夜間・休日帯における放射線部門災害時初動アクションカードの改訂
獨協医科大学病院 放射線部 村岡 祐基
- P4-4 画像検査部門の CSCA 確立
島根県立中央病院 放射線技術科 細田隆太郎
- P4-5 当院薬剤部における災害時薬剤部員召集状況共有システムの構築と課題について
日本医科大学付属病院 薬剤部 小川 惟弘
- P4-6 災害時も子どもをもつ職員が活動できるように～災害時の院内保育所運営～
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 危機管理室 災害対策チーム 光銭 大裕
- P4-7 職員情報および被害情報の経時的な閲覧・管理が可能な、災害対策アプリの開発
東京歯科大学市川総合病院 呼吸器内科 黒田 葵
- P4-8 安否確認システムの運用見直しと訓練 (第二報)
横浜国立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 荻田 義明

■ポスター 5

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

災害教育 1

コメンテーター 萬年 琢也 (山形県立新庄病院 薬剤部)
奥寺 敬 (社会医療法人厚生会中部国際医療センター 救急部門集中治療部)

- P5-1 DMAT 参集訓練への参加をきっかけに実現した院内災害対策訓練の報告
医療法人雄心会 青森新都市病院 薬剤科 齋藤 信実
- P5-2 院内災害訓練を実施して～ COVID-19 による 3 年間の訓練中止が及ぼす影響～
独立行政法人市立大津市民病院 看護局 高木 美紀
- P5-3 院内防災訓練からみえた当院の防災対策への課題と災害対策マニュアルの再構築
日本医科大学付属病院 薬剤部 加藤あゆみ
- P5-4 地域の災害医療を支える薬剤師の育成プログラムの評価 (第 2 報)
株式会社スギ薬局 武田佳司実

- P5-5 病院薬剤部内での大規模災害時初動訓練の評価
京都第二赤十字病院 薬剤部 小西加奈子
- P5-6 災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練のデータ記録と分析（1）：NFC タグを用いた患者・書類の流れの記録
学生 東京大学 工学部 尾藤 弓子
- P5-7 災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練のデータ記録と分析（2）：PHS-IC レコーダーを用いたエリア間コミュニケーションの記録
学生 東京大学 工学部 小原 洋輝

■ポスター 6

1 日目（2 月 22 日） 16:50 ～ 17:50

ポスター会場（みやこめっせ 1 階 第 2 展示場）

トリアージ 1

コメンテーター 名知 祥（中濃厚生病院 救命救急センター）
芝田 里花（日本赤十字社和歌山医療センター）

- P6-1 トリアージにかかる法的課題の検討のための諸前提
森・濱田松本法律事務所／スタンフォード大学 ロースクール 南谷 健太
- P6-2 災害医療トリアージの ELSI 研究の試み
東京大学 大学院医学系研究科 三羽恵梨子
- P6-3 夏季の大規模音楽フェスにおける熱中症の発生リスクと暑さ対策
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 竹田 飛鳥
- P6-4 地方災害拠点病院における多数傷病者事案への対応と課題
佐久医療センター 河合 俊輔
- P6-5 一酸化炭素中毒患者を 6 名同時応需した経験
勤医協中央病院 初期研修医 前田 雛乃
- P6-6 トレイルランニング大会におけるモバイル AED を用いた救護活動への取り組み
SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 救急科 櫻井 馨士

■ポスター 7

1 日目（2 月 22 日） 16:50 ～ 17:50

ポスター会場（みやこめっせ 1 階 第 2 展示場）

災害時要配慮者

コメンテーター 中島 成隆（JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 救急科）
長島 尚子（独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 看護部）

- P7-1 在宅で暮らす聴覚障害者の防災対策と課題についての文献検討
徳島大学 医学部 保健学科 看護学専攻 内田 莉子
- P7-2 障害のある職員と進める災害対策
東京都都立広尾病院 看護部 久下みどり

- P7-3 東海地方 4 県の市町村における避難所運営マニュアルの要配慮者トイレ問題の現状と評価
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 金子沙衣花
- P7-4 奈良県 A 地区医師会の地域における災害時の透析医療継続に必要な支援の見積もり
健生会 土庫病院 中務 智彰
- P7-5 外国人留学生における大地震への備えについての実態調査
大阪公立大学大学院 看護学研究科 看護情報学 小池 里彩
- P7-6 東日本大震災により被災した母親が新生児とともに産後 1 ヶ月まで被災地で過ごした経験
千葉大学 大学院 看護学研究院 吉見 萌々
- P7-7 避難所における女性の健康危機について
学生 大分大学 医学部 医学科 芳井 友奈

■ポスター 8

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

トルコ地震

コメンテーター 黒住 健人 (虎の門病院 外傷センター)
武川 礼子 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

- P8-1 国際緊急援助隊医療チーム EMT Type2 としての課題
聖隷浜松病院 肝胆膵外科 伊良部真一郎
- P8-2 トルコ地震における国際緊急援助隊医療チーム一次隊での浄水プラントの運用と管理
山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 恵谷 誠司
- P8-3 トルコ地震災害における国際緊急援助隊医療チーム 3 次隊、急変対応チームにおける活動の実際と課題
合同会社 グッド・ウィル・ライフプランニング 山口 直樹
- P8-4 国際緊急援助隊 (JDR) 医療チームにおける多部門間の連携—2023 年トルコ・シリア地震の活動経験からの示唆—
日本赤十字看護大学 看護学研究科 青山都弥子
- P8-5 トルコ・シリア地震における国際緊急援助隊医療チーム 1 次隊での臨床検査技師の活動報告
岡崎市保健所 佐藤 千歳
- P8-6 トルコ・シリア地震における国際緊急援助隊医療チーム 2 次隊での臨床検査技師の活動
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 臨床検査部 太田麻衣子
- P8-7 ARCH プロジェクトにおける Knowledge Management 戦略：災害保健医療にかかる ASEAN 学術会議開催報告
JICA ARCH2 プロジェクト 青野 美香

P8-8 ARCH project 5thRegional Collaboration Drill での被災国医療チームとの協働報告

広島大学 大学院医系科学研究科 公衆衛生学 尾川 華子

■ポスター 9

1 日目 (2月22日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめッセ 1階 第2展示場)

教育 1

コメンテーター 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)
涌嶋伴之助 (鳥取大学医学部附属病院 薬剤部)

P9-1 災害初期対応アクション・カード活用のためのシナリオ型トレーニング教材の開発

飯塚病院 森本 秀樹

P9-2 現状分析と課題のシートを活用した院内災害対策本部の運営

富山市立富山市民病院 臨床工学科 島崎 哲弥

P9-3 院内災害対策本部での電子化による情報収集の検討 (第二報)

戸畑共立病院 綾塚 仁志

P9-4 医療従事者に対する災害医療の履修証明プログラム

弘前大学 災害・被ばく医療教育センター 伊藤 勝博

P9-5 災害拠点病院における院内災害訓練の報告
～当院における3年間の取り組み～

慶應義塾大学病院 看護部 三上 由

P9-6 コントローラーを配置した災害訓練

草加市立病院 総合内科 石丸 剛

P9-7 インストラクショナルデザインを用いて院内災害訓練を分析する～ADDIEモデル・ガニエの9教授事象を活用した訓練分析～

独立行政法人市立大津市民病院 看護部 森 俊之

■ポスター 10

1 日目 (2月22日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめッセ 1階 第2展示場)

教育 2

コメンテーター 中村 光伸 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科)
佐々木吉子 (東京医科歯科大学 大学院保健衛生学研究科 災害・クリティカルケア看護学分野)

P10-1 災害訓練を継続して行うための取り組み

日本赤十字社和歌山医療センター 救護員育成委員会 小川さおり

P10-2 災害訓練を日常化するための試み

豊橋市民病院 看護局 杉浦 淳平

P10-3 院内防災訓練への取り組み

埼玉医科大学病院 救急科 清水美砂子

P10-4 病院防災研修の効果

NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会 医療安全・質管理部 阪木 志帆

P10-5 A 病院副看護師長の災害に対する意識調査
～発災時に活躍できる看護師の育成を目指して～
京都中部総合医療センター 野村 典子

P10-6 大学における災害医療専門部署の役割
愛知医科大学 災害医療研究センター 津田 雅庸

P10-7 大規模局地災害発生時を想定した病院内多数傷病者受け入れ実働訓練の実施とマニュアルの検証
埼玉石心会病院 救急部 EMT 課 鈴木 康史

■ポスター 11

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

教育 3

コメンテーター 計良 夏哉 (京都中部総合医療センター救急部・循環器内科)

P11-1 日本体育大学における災害医療ロジスティクス演習の教育効果と課題
日本体育大学大学院 保健医療学研究科/厚生労働省 DMAT 事務局 増留 流輝

P11-2 消防署と連携して開催した多数傷病者初期対応訓練
京都府立医科大学 救急・災害医療システム学/京都府立医科大学附属北部医療センター 武部弘太郎

P11-3 海岸・沿岸部における津波避難対策について
公益財団法人 日本ライフセービング協会 救助救命本部 防災対策委員会 委員長 内田 直人

P11-4 警戒犬と共に防犯パトロールを行なう私たちがめざすもの
医療法人社団明生会東葉クリニックエアポート 医師部/NPO 法人 K9 Trident Protection Group 菅谷 明子

P11-5 非医療者である成田国際空港職員に対する止血帯教育導入
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター/ショック・外傷センター/日本医科大学 救急医学教室 益子 一樹

P11-6 空港での災害訓練の振り返りと今後の課題
旭川医科大学 救急医学講座 丹保亜希仁

■ポスター 12

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

情報 1

コメンテーター 関根 和弘 (京都橘大学)
高桑 大介 (日本公衆衛生協会健康危機管理支援部)

P12-1 災害時における ICT の活用方法の検討
国立病院機構岡山医療センター ICU 小林和歌子

P12-2 災害時情報共有システム「災害ポータル」の構築
東京都立多摩総合医療センター 総務課 総務グループ 星野 夏生

P12-3 災害時の医療情報提供に関する意識調査
東北大学 災害科学国際研究所災害 医療情報学分野/東北大学病院 メディカル IT センター 藤井 進

- P12-4 大規模システム障害時における院内職員への情報共有手段の工夫と課題
大阪急性期・総合医療センター 医療技術部セラピスト部門 高尾 弘志
- P12-5 効率的な活動を求めて、本部活動における情報電子化について
DMAT 事務局 大山 凌治
- P12-6 IT を利用した鍼灸マッサージ活動の可視化と情報共有システム
特定非営利活動鍼灸地域支援ネット 日比 泰広

■ポスター 13

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

情報 2

コメンテーター 柿本 雅彦 (京都第一赤十字病院)
藤江 直輝 (大阪府立病院機構 大阪精神医療センター)

- P13-1 大規模地震時医療活動訓練 (政府訓練) 実施により EMIS への災害時電話番号入力は促進されるか?
浜松医科大学 救急災害医学講座 高橋 善明
- P13-2 EMIS チーム情報における携帯キャリアを考慮した記載の重要性
県立広島病院 救急科 小山 和宏
- P13-3 群馬県全県一斉 EMIS 入力演習結果から見える教訓と課題
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 非常勤職員/利根中央病院 総合診療科・救急科 鈴木 諭
- P13-4 徳島県における平時からの EMIS 基本情報入力 100%を目指しての取組
徳島県 保健福祉部 鎌村 好孝
- P13-5 DMAT 本部で必要とされるデータ通信について
国立病院機構本部 DMAT 事務局 田坂 勇太
- P13-6 多用途可変域型 IoT(DR-IoT) の災害医療分野における活用の検討
福島赤十字病院 事務局 三浦 有樹

■ポスター 14

1 日目 (2 月 22 日) 16:50 ~ 17:50

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

地域レジリエンス

コメンテーター 秋富 慎司 (医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 救急総合診療科)
有吉 孝一 (神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センター)

- P14-1 一般整形外科医と DMAT
西脇市立西脇病院 整形外科・リハビリテーション科 深澤 高広
- P14-2 日田市合同防災訓練
大分県済生会日田病院 事務局 医事課 末竹 清治
- P14-3 「『地域らしさ』を守る災害保健活動」に関する研修開発
広島大学 医系科学研究科 加古まゆみ

- P14-4 高知県栄養士会災害支援体制委員会の活動一訓練・防災行事参加・研修企画を通じた支援・受援体制の構築一
高知県立大学 健康栄養学部 島田 郁子
- P14-5 大規模地震時医療活動訓練に合わせて実施した垂直避難訓練の経験
医療法人倚山会田岡病院 看護部外来 松本 智子
- P14-6 大分県地域感染症発生動向データの統合基盤情報システムへの導入
学生 大分大学 福祉健康科学部理学療法コース 豊田 蓮
- P14-7 テキストマイニングを活用した防災意識の把握と分析
～岩手県二戸市に居住する防災士を対象として～
弘前医療福祉大学短期大学部 救急救命学科 遠藤 匠
- P14-8 災害時の多職種が連携した「食べる」支援の研修実施に向けた検討
東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 中久木康一

■ポスター 15

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ～ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

DMAT 関連

コメンテーター 石原 哲 (東京曳舟病院 救急科)
久保山一敏 (京都橘大学健康科学部)

- P15-1 Beyond コロナ時代に自施設の DMAT の継続を考える
京都中部総合医療センター 計良 夏哉
- P15-2 番号札・チームカードを用いた DMAT 配分の検討
金沢市立病院 中央診療部放射線室 柏屋総一郎
- P15-3 救急車での被災地参集について
青梅市立総合病院 救急科 遠藤 一平
- P15-4 医療コンテナを用いた DMAT 参集拠点本部での活動報告
島根県立中央病院 医療技術局 放射線技術科 松井 賢
- P15-5 CLDMAT インストラクターコースについて
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 川上 翔平
- P15-6 DMAT の訓練が連動する病院防災訓練に与える影響
東北医科薬科大学 医学部 救急・災害医療学講座 佐藤 大

■ポスター 16

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ～ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

災害教育 2

コメンテーター 山下 和範 (長崎大学病院 災害医療支援室)
鎌野 倫加 (訪問看護ステーション あした 訪問看護)

- P16-1 当院独自の災害医療研修、はじめました。
SUBARU 健康保険組合太田記念病院 救命救急センター 邊見 聖子

- P16-2 院内災害勉強会エキスパート技能維持コースを開催して
国立病院機構 三重中央医療センター 看護部 竹田ゆかり
- P16-3 複数の診療科混合病棟における災害発生前の事前準備
東京都立墨東病院 看護部 吉田 茜
- P16-4 災害対策委員会における委員の災害意識向上への取り組み～5分間のプレゼンテーション～
静岡県立総合病院 看護部 ICU・CCU 鈴木紗矢佳
- P16-5 当院における新たな院内教育体制の取り組み
社会医療法人共愛会戸畑共立病院 高崎 裕介
- P16-6 院内災害講習の取り組みや効果の検討
京都第二赤十字病院 放射線科 山添 元士

■ポスター 17

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめッセ 1階 第2展示場)

災害教育3 学生系

コメンテーター 笠岡 俊志(熊本大学病院災害医療教育研究センター)
原田奈穂子(岡山大学 大学院ヘルスシステム統合科学研究科)

- P17-1 災害拠点病院の歯科部門における災害歯科保健医療研修の必要性について
長崎大学病院 口腔管理センター 白石 千秋
- P17-2 言語聴覚士養成課程における災害リハビリテーション教育に関するJRAT及び養成校への調査結果の比較
姫路獨協大学 医療保健学部 言語聴覚療法学科 森澤 広行
- P17-3 看護学生の防災意識と備え―「災害への備えチェック」を用いた災害看護教育前後の比較
長崎県立大学シーボルト校 看護栄養学部 看護学科 片穂野邦子
- P17-4 地域に密着した防災イベントの実施に関わる学生に対する実践教育の取り組み
札幌保健医療大学 保健医療学部栄養学科 金高 有里
- P17-5 実務実習事前学習における薬事トリアージ実習
九州保健福祉大学 薬学部 薬学科 臨床薬学第一講座 徳永 仁
- P17-6 藤田医科大学アセンブリ教育における災害医療への取り組み～南三陸病院との合同ワークショップ開催の成果～
藤田医科大学 医学部 地域医療産学連携共同研究講座/新潟大学 医学部 災害医療教育センター 和泉 邦彦
- P17-7 医療系学生を対象とした津波避難タワー・避難所体験実習の効果について
学生 高知大学 医学部医学科 高岸 康志

■ポスター 18

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

システム・ライフライン

コメンテーター 奥村 徹(法務省 矯正局福岡矯正管区)
加藤 大策(京都第一赤十字病院リハビリテーション科)

- P18-1 改良型非常用階段可変式降下ストレッチャーの開発
関西国際大学 経営学部 経営学科 田中 綾子
- P18-2 航空自衛隊のC-2輸送機による医療搬送時の機内環境の確認
DMAT事務局 災害医療課 齋藤 和之
- P18-3 当院における停電時対応マニュアルの改訂
新東京病院 救急科 安倍 晋也
- P18-4 取り下げ
- P18-4 災害医療における定温運搬装置を用いた冷所保存医薬品の温度管理
医療法人徳洲会四街道徳洲会病院 薬剤部/NPO法人TMAT 柳川 拓哉
- P18-5 交通網の麻痺による帰宅困難者の安全確保と診療体制の維持
京都中部総合医療センター 田中 裕詞
- P18-6 地域防災計画の風水害対策における岡山市・倉敷市・津山市の相違
就実大学 薬学部 医療薬学教室 松本 優哉
- P18-7 選択的SMR(脊椎運動制限)の最新の考え方と災害現場に適したSMR資材の開発と研究
TACMEDA:Tactical Medicine ESSENTIALS Asian Chapter 照井 資規

■ポスター 19

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

情報・機材管理

コメンテーター 奥野 史寛(済生会加須病院 災害対策室)
山内 聡(仙台市立病院 救急科)

- P19-1 DMAT資機材整備と管理の症例報告
医療法人 王子総合病院 看護部 横川 亮介
- P19-2 新型コロナウイルス感染症院内クラスターに対するDMATロジスティクス活動の振り返り
京都中部総合医療センター 中井 優志
- P19-3 災害時電子カルテを利用した患者情報整理・業務効率化への取り組み
山梨県富士吉田市立病院 リハビリテーション科 宮下 健
- P19-4 遠隔通信機器を用いた災害避難時の情報収集の可能性
大分大学 福祉健康科学研究科 萬井 太規

- P19-5 サイバー攻撃を乗り越えた外来診療の経験は災害時にも活きる
つるぎ町立半田病院 看護部 岡 由美
- P19-6 災害用の安全靴の管理
徳山中央病院 救急科 清水 弘毅
- P19-7 災害時に持参する医療資機材のメンテナンス、内容変更についての仕組み作り
前橋赤十字病院 看護部 高寺由美子
- P19-8 世界最新の病院前救命器具の概念を取り入れた国産救命止血帯、止血用包帯材料、災害時に真に役立つ衛生資材について
株式会社いきがい 照井 資規

■ポスター 20

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

国際緊急援助

コメンテーター 加地 正人(埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター)
金澤 豊(京都橘大学)

- P20-1 国際緊急援助隊医療チーム EMT type2 における隊員の健康管理
独立行政法人国立病院機構東京医療センター 救急科 尾石 早織
- P20-2 トルコ・シリア地震での国際緊急援助隊医療チームの活動～滅菌室運用の現状と今後の課題～
広島大学 医系科学研究科 公衆衛生学 尾川 華子
- P20-3 トルコ共和国における地震災害に対する JICA 国際緊急援助隊医療チームの活動～外来における看護診断活用の検討～
医療法人財団建和会 みさと建和病院 吉田 一哉
- P20-4 モロッコ地震における TMAT の活動報告
熊本大学 医学教育部博士課程医学専攻 坂元 孝光
- P20-5 トルコ地震における医療活動報告ー TMAT 薬剤師としての立場からー
医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 薬剤部 坂口 結斗

■ポスター 21

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

災害教育4 研修

コメンテーター 藤田 基生(東北大学病院高度救命救急センター)
植田 信策(石巻赤十字病院 災害医療研修センター)

- P21-1 医療機関の安全性を高める取り組み～不審者対策・火災予防、災害時の救急救護まで～(第2報)
医療法人社団明生会東葉クリニックエアポート/TACMEDA:Tactical Medicine ESSENTIALS Asian Chapter 菅谷 明子
- P21-2 埼玉医科大学国際医療センターにおける消火訓練の検証と課題
埼玉医科大学国際医療センター 看護部 齋藤 新

- P21-3 災害対策本部における水害対応タイムライン
東京都立広尾病院 減災対策支援センター 小野川 淳
- P21-4 2次保健医療圏域の訪問看護ステーションによる災害時の協力体制構築への取り組み
合同会社 CSP 宮本 康寿
- P21-5 複合的な災害に備えた千葉大学の人材育成 - 放射線災害に対応するために -
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学／量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所／
千葉大学災害治療学研究所 栗田 健郎
- P21-6 原発事故後の産業保健ニーズの変遷から見た今後の災害発生の教訓
産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 五十嵐 侑
- P21-7 原子力災害時の効率的な準備に備えた活動 養生・防護服着用マニュアルの作成
長浜赤十字病院 医療社会事業部 社会課 伊吹 好弘

■ポスター 22

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

人材1

コメンテーター 若井 聡智(国立病院機構 大阪医療センター)

- P22-1 地域防災活動と大学連携(第2報)
安田女子大学 看護学部 看護学科 楠 夏姫
- P22-2 災害時保健活動演習後のリフレクション分析からみた学びの特徴
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 奥田 博子
- P22-3 Advanced MIMMS コース(3 days)の参加者アンケート解析結果
大阪大学 医学部附属病院 高度救命救急センター／MIMMS 日本委員会 廣瀬 智也
- P22-4 東京都の自治体における緊急医療救護所の設営の現状と課題に関する調査研究
東京電機大学 理工学部 江川 香奈
- P22-5 緊急医療救護所運営を通じた病院と保健所の患者受け入れ協力における課題
聖路加国際病院 救命救急センター 香取 雅美
- P22-6 県内における局地災害発生時の情報伝達・対応訓練を重ねて
三重中央医療センター 救急科 信岡 祐
- P22-7 取り下げ
- P22-8 医学部キャンパス全体での災害対応研修会の開催とその効果について
大分大学 医学部附属病院 災害対策室 中嶋 辰徳

■ポスター 23

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

人材2

コメンテーター 佐藤 友子(済生会熊本病院救急総合診療センター 救急科)
益満 茜(滋賀医科大学医学部附属病院救急・集中治療部)

P23-1 一般の人々と支援者のトラウマに関する認識の比較検討

岩手県立大学 社会福祉学部 瀧井 美緒

P23-2 介護福祉施設を対象とした人材育成

愛知医科大学 災害医療研究センター 柴田 隼人

P23-3 災害拠点病院における簡易トイレの使用に関する勉強会について - 事例を通じて -

三重中央医療センター リハビリテーション科 梅原 健

P23-4 当院における災害用トイレの設置と職員教育の実際

関東労災病院 看護部 飯田 晋白

P23-5 体験型避難経路確認ツアーの実施とその評価に関する考察

聖路加国際病院 救命救急センター 新村 尚子

P23-6 組織的な EMIS 医療機関基本情報の入力促進について II

～九州・沖縄ブロック災害医療ロジスティクス検討委員会での取り組み～

社会医療法人 陽明会 小波瀬病院 災害医療対策室/社会福祉法人 恩賜財団 大分県済生会日田病院 馬渡 博志

■ポスター 24

2日目(2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場(みやこめっせ 1階 第2展示場)

人材3

コメンテーター 若狭 真美(京都第一赤十字病院 救命救急センター 放射線科)
富岡 譲二(社会医療法人緑泉会 米盛病院)

P24-1 災害訓練における病院救命士の役割

名古屋掖済会病院 救急救命士部 新田 満

P24-2 臨床工学技士(Clinical Engineer: CE)として備える災害対策

川崎医科大学総合医療センター MEセンター 佐々木 恵

P24-3 “災害時出社シミュレーション”を用いた災害時における現実的な登院可能人数の予測—自宅の建築物災害対策状況や登院経路を考慮して—

三重大学医学部附属病院 薬剤部 森川 祥彦

P24-4 発災時安全訓練における「我が事化」への取り組み

聖路加国際病院 救命救急センター 辛島 杏奈

P24-5 医療従事者、医学生の多数傷病者訓練でのトリアージの評価

三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター 岸上 瞭一

P24-6 生成 AI を活用した災害訓練の検討 ～ Chat GPT® を用いた災害訓練シナリオと被災者想定を作成～

南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 看護部 高山 良光

P24-7 Field Tactics for Resuscitation における現場対応についての修練の強化

関西労災病院 救命救急科 高松 純平

■ポスター 25

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ～ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

マニュアル 1

コメンテーター 岡本 健 (順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科)
森實 岳史 (松山赤十字病院 救急部)

P25-1 災害時における電動車活用に関する考察

社会医療法人健生会 日の出診療所 内科・往診科 佐藤 崇

P25-2 新生児集中治療室を対象とした地震後の現場復旧シミュレーション手法の開発

佼成病院 看護部 長内佐斗子

P25-3 システム障害に対する BCP の基本

国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科 堀内 義仁

P25-4 院内で軽症傷病者対応エリア設置訓練を 2 回行って明らかになった課題

松山赤十字病院 救急部 森實 岳史

P25-5 できることから始めよう - 続編 - ～院内個人備蓄普及への試み～

東京都立多摩総合医療センター 危機管理室 災害対策チーム 清水 若葉

P25-6 Microsoft Teams を使用した職員安否確認の訓練報告

洛和会音羽病院 救命救急センター・京都 ER 宮前 伸啓

P25-7 TQM 活動を通じた災害時 BCP の周知と改善

京都府立医科大学附属病院 看護部 鴨島 尚美

P25-8 PDCA サイクルを回す！放射線部災害対策の取り組み

京都大学医学部附属病院 放射線部 光元 勝彦

■ポスター 26

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ～ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

マニュアル 2

コメンテーター 石井 圭亮 (永富脳神経外科病院 (Oita Brain Center) 脳神経外科/救急科)
酒井 智彦 (大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター)

P26-1 災害時要支援者からの SOS 発信・事業者からの安否確認機能を実装した K-DiPS BCP の評価

高知県立大学 看護学部 中井 寿雄

P26-2 薬局 BCP 策定を目指した研修会の開発と評価

岐阜薬科大学 在宅チーム医療薬学寄附講座 藤井 嵩将

- P26-3 参集困難時における医療従事者へり輸送の制度化に向けた検討 ～自衛隊機を用いた災害拠点病院勤務医師の輸送訓練を通じて～
徳島県 南部総合県民局／徳島大学 環境防災研究センター 坂東 淳
- P26-4 リアルタイムな情報共有をはかる「MCP (Medical Continuity Plan) 支援システム」の開発～人吉医療センターでの取り組み その2～
清水建設株式会社 設計本部 鳥山 亜紀
- P26-5 災害拠点病院の地震災害時のサージキャパシティの推定から導かれる病院 BCP の課題
京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野 武田 和也
- P26-6 BCP と IT-BCP の連携について
大分大学医学部附属病院 医療情報部／大分大学医学部附属病院 災害対策室 下村 剛
- P26-7 BCP 改訂における外部委託業者介入の効果
東京女子医大病院 薬剤部 小野寺美琴
- P26-8 各種自然災害に対する BCP への「BCP ユニット」の活用について
国際医療福祉大学熱海病院 皮膚科 堀内 義仁

■ポスター 27

2日目 (2月23日) 17:15～18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1階 第2展示場)

マニュアル3

コメンテーター 嶋村 文彦 (千葉県総合救急災害医療センター)
庄古 知久 (東京女子医科大学附属足立医療センター 救急医療科)

- P27-1 A 看護基礎教育機関における系統的な災害対応の策定 - CSCARRR -
戸田中央看護専門学校 教務部 災害看護学領域、成人看護学領域 小坂 龍嗣
- P27-2 水災害を想定した看護基礎教育機関図書室における蔵書トリアージ
戸田中央看護専門学校 教務部 災害看護学領域、成人看護学領域／戸田中央看護専門学校 事務部 小坂 龍嗣
- P27-3 令和4年台風15号による断水被害からみた医療機関の事業継続
徳島大学 環境防災研究センター 湯浅 恭史
- P27-4 働き方に配慮した BCP への改定 ～平成30年北海道胆振東部地震の経験から BCP を再考する～
手稲溪仁会病院 臨床工学部 菅原 誠一
- P27-5 堺地域災害時医療救護対策協議会の活動～行政との連携協働を目指して
堺市立総合医療センター 災害時医療管理センター／堺市立総合医療センター 救命救急センター 中田 康城
- P27-6 札幌市東区地域連携 BCP 策定協議会 (HBC5) の活動
勤医協中央病院 田口 大
- P27-7 在宅クリニックの BCP 作成の経験
千船病院 救急診療部 山下 公子

■ポスター 28

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ~ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

マニュアル 4

コメンテーター 太田 雅博 (名古屋掖済会病院)
近藤 祐史 (防衛省人事教育局衛生官付衛生企画室防衛部員)

- P28-1 災害マニュアル改訂作業におけるクラウド型ツールの活用
川崎市立多摩病院 救急災害医療センター/聖マリアンナ医科大学 救急医学 野村 悠
- P28-2 災害拠点病院における職員の健康確保施策に関する BCP 良好事例のインターネット調査
産業医科大学 医学部 医学科 宮崎 柊人
- P28-3 Neonatal ICU Earthquake Recovery Modeling and Simulations
京都大学 DPRI, PhD Student Gipson Jasmine
- P28-4 取り下げ
- P28-5 複数段階に分けた新しいアクションカードシステムの開発と評価 ~誰もが、どんな災害でも対応可能となるために~
日本赤十字社医療センター 救命救急センター 堀越 拓海
- P28-6 救急外来におけるアクションカードの検証
公立置賜総合病院 救命救急センター 齋藤さゆり
- P28-7 日めくりカレンダーによる災害対策マニュアルの周知とその効果についての検証
聖路加国際病院 救命救急センター 武田 果穂

■ポスター 29

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ~ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

コロナ 1

コメンテーター 小倉 憲一 (富山県厚生部 中部厚生センター)
三浦由紀子 (東京医療保健大学 立川看護学部)

- P29-1 COVID-19 の PCR の Ct 値
三田市民病院 救急総合診療科 橋本 直樹
- P29-2 取り下げ
- P29-3 山口県での COVID-19 第 8 波におけるクラスター支援チームの活動について
山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター/山口県 COVID-19 クラスター支援チーム 藤田 基
- P29-4 医療過疎地域でのワクチン接種支援ボランティアの実践~奈良県山辺郡山添村にて~
NPO 法人われらはふるさと医療応援団 伊藤 栄次

P29-5 鹿児島県離島における C-HEAT(COVID-19 Health Emergency Assistance Team) による
支援活動

鹿児島大学病院 感染制御部 川村 英樹

P29-6 コロナ渦における当院での有症状者外来の受診体制構築について

大津赤十字病院 医療社会事業部社会課 辻 多鶴子

■ポスター 30

2 日目 (2 月 23 日) 17:15 ~ 18:15

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

精神保健

コメンテーター 村尾 佳則 (八尾徳洲会総合病院 救急科)
福生 泰久 (神経科浜松病院)

P30-1 災害派遣活動における陸上自衛隊のストレスと各種ストレス指標に関する研究

神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 草深 鉄兵

P30-2 派遣救護員のメンタルサポート体制整備に向けて

長浜赤十字病院 看護部 押谷久美子

P30-3 熊本市保健所を中心とした新型コロナウイルス感染症対応職員への産業保健対応報告

熊本市役所 総務局行政管理部労務厚生課 藤井 可

P30-4 2023 年調査と第五波直後および第二波期調査との比較：コロナ禍における救急隊員
のストレス (13)

名城大学 人間学部 畑中 美穂

P30-5 COVID-19 遺体のご遺族へのエンバリング効果及び医学系研究者の関わりについて
—ご遺族へのアンケート調査結果より—

東京医科歯科大学 大学大学院医歯学総合研究科 法歯学分野/千葉大学 大学院医学研究院 法医学 斉藤 久子

P30-6 令和 5 年 7 月以降の記録的大雨による秋田県での心理的影響を対象とした Web 調査

秋田大学 新学部設置準備担当/秋田大学 地域防災減災総合研究センター ヒューマンサポート部門 門廻 充侍

■ポスター 31

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

公助

コメンテーター 計良 夏哉 (京都中部医療センター救急部・循環器内科)
川内 敦文 (高知県 健康政策部)

P31-1 災害時避難者用クイックデンチャーの製品化

日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅱ講座 月村 直樹

P31-2 A 市地域防災力育成セミナーにおける地域コミュニティ力向上のための炊き出し訓練
の活動と課題

地域医療振興協会公立丹南病院 地域医療連携室 窪田 直美

P31-3 レジリエンスによる災害ボランティア体験の捉え方の違い

日本赤十字豊田看護大学 看護学部 中島佳緒里

P31-4 熱海市土砂災害における鍼灸マッサージを用いた支援活動から得られた課題についての考察
常葉大学浜松キャンパス 健康プロデュース学部健康鍼灸学科 村上 高康

P31-5 災害弱者とその支援者に対する長期的な鍼灸ボランティア活動の報告
はり灸レンジャー 森川 真二

P31-6 関東大震災から 100 年首都防災ウィーク - 鎮魂と希望竹灯りワークショップ参加者の健康管理報告 -
弘前医療福祉大学 保健学部看護学科/青森県立中央病院 看護部 板垣喜代子

■ポスター 32

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

風水害・土砂災害

コメンテーター 増野 智彦 (日本医科大学付属病院高度救命救急センター)
松園 幸雅 (荒尾市立有明医療センター 救急科)

P32-1 水害時の救命救急センター垂直避難と傷病者受入れ
久留米大学病院 高度救命救急センター 鍋田 雅和

P32-2 令和 5 年 7 月秋田県豪雨災害時における受援側、支援側の連携、協働のあり方 (活動報告)
日本赤十字秋田看護大学 看護学部看護学科 佐々木久美子

P32-3 事例報告：令和 5 年台風第 2 号および梅雨前線の影響によって浸水した家屋の感染症対策に関する啓発および対応について
豊橋市保健所 感染症対策室 平野 雅穂

P32-4 洪水浸水想定区域に立地する病院の事前対策と医療継続に関する事例分析
徳島大学 環境防災研究センター 中野 晋

P32-5 土砂災害で孤立した僻地診療所
中部国際医療センター 救急部門 水谷 喜雄

P32-6 効率的な止水板の設置訓練の報告
東京都立墨東病院 事務局 医事課 市原 英司

P32-7 田主丸町土砂災害におけるドクターカー活動
久留米大学病院 高度救命救急センター 宮崎 允宏

■ポスター 33

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

災害看護

コメンテーター 高岡 誠子 (一般財団法人 日本公衆衛生協会 健康危機管理支援部)
内海 清乃 (国際医療福祉大学大学院 災害医療分野・災害保健医療研究センター)

P33-1 令和 5 年 7 月秋田豪雨災害における看護支援活動～被災者の心と身体に寄り添うこと～
東京家政大学 健康科学部 看護学科 齋藤 麻子

- P33-2 取り下げ
- P33-3 台風に対する看護部タイムラインの課題
市立敦賀病院 看護部 井上ひろみ
- P33-4 災害ボランティアとしての看護学生の人材配置の一考察
東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科 佐藤 里咲
- P33-5 災害看護教育ラダーと VR 教材導入による災害看護教育への取り組み
NHO 災害医療センター 看護部 救命救急病棟 佐野 剛志
- P33-6 日・トルコの災害看護教育プログラムに関するニーズ
日本赤十字看護大学 看護学部看護学科 / Hacettepe University 看護学部 織方 愛
- P33-7 行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ
徳島大学大学院 保健科学研究科 細井 玲

■ポスター 34

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめッセ 1 階 第 2 展示場)

事例報告

コメンテーター 林 靖之 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)
北村 伸哉 (君津中央病院 救命救急センター)

- P34-1 ビデオ喉頭鏡を用いた狭隘な環境下での気管挿管の可能性
埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 大谷 義孝
- P34-2 知床遊覧船沈没事故における検案の実情報告
旭川医科大学 法医学 奥田 勝博
- P34-3 理科室での実験中に発生した硫化水素中毒疑いの多数傷病者受け入れについて
埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター / 埼玉医科大学総合医療センター 救急科 (ER) 園田健一郎
- P34-4 都内繁華街におけるガス爆発事故を対応して
東京慈恵会医科大学病院 救急部 中谷 宣章
- P34-5 不整脈性失神に対する根拠的治療の災害時における意義
江東病院 循環器内科 高部 智哲
- P34-6 高エネルギー外傷の小児に対し、ソフトシーネとラチェット式止血帯 (RMT: Ratcheting Medical Tourniquet) を用いて骨盤固定を行なった症例
国立療養所 沖繩愛楽園 内科 玉城佑一郎
- P34-7 緊急走行での傷病者搬送時に求められる看護～ドクターカー活動を災害看護教育につなげる～
長浜赤十字病院 医療社会事業部 社会課 富岡 康弘

■ポスター 35

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

避難所・支援

コメンテーター 揚野 達也 (神戸赤十字病院)
大桃 丈知 (直和会 平成立石病院 地域救急医療センター)

- P35-1 令和 5 年 7 月秋田災豪雨災害看護支援活動報告 ～避難所変更から見えてきたこと～
五香病院 地域連携室 入退院支援係/日本赤十字秋田看護大学 看護学部/京都看護大学 大学院 看護学研究科/
東京家政大学 健康科学部 看護学科 芹口 順子
- P35-2 避難所における生活習慣病のリスクの性差について
学生 大分大学 医学部 医学科 島崎 康德
- P35-3 避難所における生活環境の経時的汚染状況と住民による清掃効果の検討
桐生大学 医療保健学部 看護学科 黒田 梨絵
- P35-4 避難所生活の精神衛生を守る嗅覚制御技術
花王株式会社 感覚科学研究所 竹内 恭代
- P35-5 巡回診療車の避難所への応用の可能性：無医地区への巡回診療における巡回診療車と
遠隔診療デバイスの検証
山口県立総合医療センター へき地医療支援部/山口市徳地診療所 中嶋 裕
- P35-6 A 町自主防災訓練における町民の防災・減災意識向上を目指した取り組み—避難訓練
と体験訓練を通じた効果と課題—
公益社団法人 地域医療振興協会 公立丹南病院 手術・中材室 竹村 百瀬
- P35-7 陸前高田市における 12 年間の復興支援活動
日本赤十字北海道看護大学 看護学部 看護学科 尾山とし子
- P35-8 BHELP 開催の現状と今後の展望
京都大学 大学院医学研究科/ BHELP 運営委員会 藤本万理恵

■ポスター 36

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

指揮・調整・連携 1

コメンテーター 吉田 修 (市立大津市民病院 ER・内視鏡センター)

- P36-1 令和 5 年 7 月豪雨で被災した高齢者施設における法人間連携の事例
徳島大学 理工学部 社会基盤デザインコース 金井 純子
- P36-2 救護病院前に開設した病院前救護所の意義と課題
磐田市立総合病院 看護部 高橋美千子
- P36-3 令和 5 年度静岡県本部運営訓練からの考察
～静岡県職員と DMAT の「タスクシェア」は有効であったのか？～
独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 看護部 長島 尚子

- P36-4 済生会横浜市東部病院の DMAT 編成・出勤決定方法と現在の状況
済生会横浜市東部病院 災害医療対策室 小原 澄子
- P36-5 計画停電作業時における情報集約室の設置にて、「現状分析と課題」を用いた本部活動
富山県農業協同組合連合会高岡病院 看護部 救命救急センター外来 南本 祐希
- P36-6 災害時の外部支援看護師の必要数に関する考察
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 千島佳也子
- P36-7 災害拠点病院と地域住民との連携
東北医科薬科大学 医学部 救急・災害医療学教室 佐藤 大

■ポスター 37

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

教育 4

コメンテーター 白子 隆志 (飯田市立病院 外科・救命救急センター)
岩崎 安博 (和歌山労災病院 救急集中治療部)

- P37-1 リスクコミュニケーションとしての他部署連携・協議を経た救護エリア運用に関する検討
聖路加国際病院 救命救急センター 染谷 雪奈
- P37-2 福島県においてコロナ禍に実施した多数傷病者および放射性物質汚染傷病者受け入れ訓練についての考察
福島県立医科大学 災害医療部/福島県立医科大学会津医療センター 耳鼻咽喉科 小針 健大
- P37-3 小都市における、病院前救護所の取り組み
聖隷三方原病院 高度救命救急センター 救急科 志賀 一博
- P37-4 多職種が集まる救護エリアにおけるブリーフィングカードの有用性の検証
聖路加国際病院 救命救急センター 小川裕美子
- P37-5 Emergo Train System を用いた危機管理方針の策定とデモンストレーション
富山県立中央病院 救命救急センター 若杉 雅浩

■ポスター 38

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

コロナ 2

コメンテーター 竹上 徹郎 (京都第一赤十字病院 救命救急センター)
益満 茜 (滋賀医科大学医学部附属病院救急・集中治療部)

- P38-1 5 類移行によって新型コロナウイルス感染症の対応はどう変化したか?
飯塚病院 救急科 山田 哲久
- P38-2 COVID-19 パンデミック下における医療従事者のメンタルヘルスと心理社会的支援：全国赤十字病院アンケート調査をもとに
日本看護大学附属災害救護研究所 心理社会的支援部門 大山 寧寧

- P38-3 COVID-19 感染に対する個人の予防対策の効果：広島での PCR 検査センターで収集されたビッグデータの分析
広島大学大学院 医系科学研究科 公衆衛生学 永田 達拓
- P38-4 近畿 DICT アクティブメンバーによる DWAT 研修ファシリテーター活動について
厚生会土庫病院 外科 中尾 武
- P38-5 COVID-19 対応病棟における災害訓練実施後の災害対応に対する認識の変化
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 看護部 救命救急センター 江原 沙織
- P38-6 パンデミック下における感染対策を考慮した災害訓練の取り組み
手稲溪仁会病院 看護部 救命救急センター 町中果実子

■ポスター 39

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

指揮・調整・連携 2

コメンテーター 梶野健太郎 (関西医科大学附属病院 高度救命救急センター)
守川 義信 (厚生労働省医政局総務課)

- P39-1 宮崎県西諸医療圏における保健医療福祉調整本部立ち上げ訓練の検討
宮崎大学 医学部 救急医療・災害医療支援講座／小林市立病院 救急科／
宮崎大学 医学部 救急・災害医学講座 遠藤 穠治
- P39-2 風水害時における保健医療福祉活動の実態に関する調査研究
防災科学技術研究所 災害過程研究部門 李 泰榮
- P39-3 令和 5 年度大規模地震時医療活動訓練における参集 DMAT の効果的な人員配置のための「スキルチェックシート」の活用
医療法人白井会 田野病院 薬剤部 豊山 美琴
- P39-4 取り下げ
- P39-5 自院での DMAT 活動拠点本部訓練実施における成果と今後の展望
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 救急科 山下 貴弘
- P39-6 草加市災害医療検討会議の設立と草加市立病院災害対策室の役割
草加市立病院 災害対策室 兼 泌尿器科 吉永 敦史
- P39-7 大学病院災害対策本部立ち上げ実践訓練への取り組み
埼玉医科大学病院 本館 10 階病棟 佐藤 真塩

■ポスター 40

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

国際援助

コメンテーター 京極多歌子 (大阪府済生会千里病院 救命救急センター)

- P40-1 2023 年トルコ・シリア地震における病院施設の被害調査
京都大学 防災研究所 倉田 真宏

- P40-2 パレスチナ難民キャンプにおける病院支援
大阪赤十字病院 国際医療救援部 片山 珠
- P40-3 日本赤十字社・パレスチナ赤新月社医療支援事業（レバノン）における事業管理要員としての関り
大阪赤十字病院 国際医療救援部 三浦 知紘
- P40-4 ウクライナ人道危機救援に対する長期支援において見えた、薬剤師の国際医療救援における可能性
大阪赤十字病院 国際医療救援部／大阪赤十字病院 薬剤部 仲里泰太郎
- P40-5 トルコ・シリア地震における国際緊急援助隊救助チーム医療班の活動～発災から130時間ぶりの女児救出現場に遭遇して～
唐津赤十字病院 救急科 日下あかり
- P40-6 国際医療活動に携わった助産師が初派遣前に必要と考える知識・スキル
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 産科病棟 佐藤友香理
- P40-7 初派遣の手術室看護師が安全な手術を遂行するため考えていたこと
松阪中央総合病院 鈴木 紗知

■ポスター 41

3日目（2月24日）14:30～15:30

ポスター会場（みやこめッセ 1階 第2展示場）

避難所

コメンテーター 畑 倫明（宇治徳洲会病院 救命救急センター）

- P41-1 避難所での鍼灸施術支援について DSAM 委員へのアンケート調査
履正社国際医療スポーツ専門学校 鍼灸学科／災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 DSAM／公益社団法人 日本鍼灸師会／公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会 古田 高征
- P41-2 避難所でのマッサージ施術支援について DSAM 委員へのアンケート調査
履正社国際医療スポーツ専門学校 鍼灸学科／災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 DSAM／公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会／公益社団法人 日本鍼灸師会 古田 高征
- P41-3 災害時に向けた栄養科での取り組み
彩の国東大宮メディカルセンター 栄養科 豊田 佑佳
- P41-4 カナダにおける災害時の栄養・食生活支援体制
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 佐藤 寛華
- P41-5 「災害支援経験者における支援活動中の食事に関する調査」の報告
食べるのいろは 濱田 真里
- P41-6 都道府県及び県庁所在地の避難所運営マニュアルにおける要配慮者のトイレ問題の現状と評価
鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 北村 駿也
- P41-7 環境衛生監視員による避難所生活衛生対策のためのチェックリストの策定
大阪府 健康医療部生活衛生室 辻野 悦次

■ポスター 42

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

病院避難

コメンテーター 鈴木 健介 (日本体育大学大学院 救急蘇生災害医療学専攻)
森川 精二 (金沢市立病院整形外科)

- P42-1 山形県立新庄病院の新病院移転に伴う入院患者搬送の一事例
山形県立新庄病院 耳鼻咽喉科 長瀬 輝顕
- P42-2 富士山噴火時の病院避難において Excel を利用した患者情報の収集と共有について
国民健康保険 富士吉田市立病院 管理課システム管理 渡邊 優太
- P42-3 東日本大震災における病院避難支援の経験
埼玉巨樹の会 所沢美原総合病院 副院長 森崎 善久
- P42-4 病院の火災避難、垂直避難におけるロール式担架、曳航式担架の有効性について
株式会社いきがい 照井 資規
- P42-5 津波浸水被災が想定される大学病院での病院避難を意識した防災訓練の取り組み
三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 岸和田昌之
- P42-6 火災による病院避難に対する後方支援の DMAT 活動報告
岩手県立胆沢病院 呼吸器内科 小野寺克洋

■ポスター 43

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

トリアージ 2

コメンテーター 伊藤 裕介 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)
金子 唯 (藤田医科大学ばんだね病院 救急科)

- P43-1 トリアージと市民：リスクコミュニケーションの観点から
東京大学 学際情報学府 石橋 真帆
- P43-2 トリアージの医療コミュニケーションに関する会話分析アプローチの検討
東京大学大学院 人文社会系研究科 坂井 愛理
- P43-3 災害時の妊婦における緊急度判断ができる周産期トリアージツールの作成
日本医科大学千葉北総病院 女性診療科・産科病棟 平山香緒理
- P43-4 幼児遊戯施設におけるトリアージと災害対応
一般財団法人 日本救護救急財団 鴨川富美夫
- P43-5 世界最新の大規模災害トリアージ法 2 分類 2 段階方式と SALT について
株式会社いきがい 照井 資規

■ポスター 44

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

災害研究

コメンテーター 卯津羅雅彦 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター)
関 啓輔 (社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 災害管理室)

P44-1 電気自動車による滅菌装置稼働実証実験

浜松医科大学医学部附属病院 看護部 彦坂 宗平

P44-2 保健医療福祉調整本部運営訓練企画を容易に エージェントベースモデルを用いた災害超急性期の医療関連ニーズシミュレーターの開発

芝浦工業大学/兵庫県災害医療センター 甲斐聡一郎

P44-3 大規模地震発災後の死者数推移とその最終値との相関分析

日本医科大学 救急医学教室/日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 上村 浩貴

P44-4 「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における具体計画」に関する研究

国立病院機構本部 DMAT 事務局 小谷 聡司

P44-5 機械学習を利用した大規模地震発災後の死者数予測

日本医科大学 救急医学教室 五十嵐 豊

P44-6 メカニズムを解明すべき災害研究機関の存在意義

大阪行岡医療大学 医療学部 中尾 博之

P44-7 医療機関における BCP/BCM 推進を目的とする DRI ジャパン医療部会の活動と今後の展望

順天堂大学医学部附属浦安病院 救急診療科/一般財団法人 DRI ジャパン 岡本 健

■ポスター 45

3 日目 (2 月 24 日) 14:30 ~ 15:30

ポスター会場 (みやこめっせ 1 階 第 2 展示場)

安全・衛生対策

コメンテーター 中田 康城 (堺市立総合医療センター 救命救急センター・医療安全管理センター)

P45-1 災害のスイッチが遅れた多数傷病者発生交通事故事案の経験

SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 救命救急センター 秋枝 一基

P45-2 交通事故による多数傷病者発生事案におけるドクターカーの活動報告

埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 齋藤 笑里

P45-3 中国道玉突き事故による多数傷病者の受け入れを通して学んだ当院の課題

宝塚市立病院 看護部 救急医療センター 福本 理乃

P45-4 交差点における歩行者の交通事故根絶を目的とする歩車分離式信号機の導入に向けた課題抽出

東京都立広尾病院 減災対策支援センター/
東京都立大学 健康福祉学部 人間健康科学研究科 フロンティアヘルスサイエンス学域 小野川 淳

- P45-5 近隣病院火災に対する DMAT 出動の報告
岩手県立胆沢病院 忠地 一輝
- P45-6 自動車解体工場火災に伴う多数傷病者発生事案の報告
北九州市立八幡病院 救急科 平松 俊紀
- P45-7 本学で行った火災対応を検証する ～ボヤ(小火)でも災害対策本部の設置は必要か?～
浜松医科大学医学部附属病院 病院経営支援課 加藤 真嗣